いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

2013年3月期 第1四半期決算報告

2012年8月10日

第一生命保険株式会社

決算のポイント

- 新契約獲得は順調に推移。国内営業職員チャネルでは医療特約を含む主力商品の販売に注力し、銀行窓販チャネルや海外市場においても販売を伸ばし、内外市場で保有契約年換算保険料の拡大に寄与

- 内外の金融市場は調整色を強め、運用面で一定の影響を受けたものの、ＡＬＭ・内部留保蓄積・成長分野への取り組み等、中長期での収益改善に向けた施策を継続

- 内外金融市場の不透明感が払拭されることは短期的には難しいものの、好調な営業業績を維持し、運用でも機動的に対応可能と見て、２０１３年３月期業績予想は据え置き

業績ハイライト

■ 営業業績は、国内営業職員チャネル、銀行窓販チャネル、海外のいずれにおいても順調に推移

■ 厳しい金融市場を受け運用環境が悪化、前年同期に計上した特別利益の剥落の影響等もあり、増収ながら、経常利益・当期純利益では減益

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q(a)	前年同期比		<参考> 13/3期 業績予想(b)	進捗率(a/b)
経常収益	11,356	12,016	+659	+6%	45,960	26%
第一生命単体	10,509	10,689	+180	+2%	39,880	27%
経常利益	473	294	△179	△38%	1,380	21%
第一生命単体	551	406	△144	△26%	1,560	26%
純利益	322	111	△211	△66%	250	45%
第一生命単体	173	225	+51	+30%	440	51%

連結主要業績

■ 有価証券評価損の拡大は超長期債への入れ替えに伴う有価証券売却益の拡大で相殺

連結損益計算書（要約）(1)

（億円）

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	11,356	12,016	+659
保険料等収入	8,308	8,883	+574
資産運用収益	2,213	2,506	+293
うち利息･配当金等収入	1,733	1,665	△68
うち有価証券売却益	445	711	+266
うち金融派生商品収益	14	56	+41
その他経常収益	834	626	△208
経常費用	10,883	11,721	+838
うち保険金等支払金	6,539	6,792	+252
うち責任準備金等繰入額	1,554	1,035	△518
うち資産運用費用	656	1,767	+1,111
うち有価証券売却損	142	127	△15
うち有価証券評価損	204	482	+278
うち特別勘定資産運用損	19	841	+821
うち事業費	1,114	1,088	△26
経常利益	473	294	△179
特別利益	235	39	△196
特別損失	69	68	△1
契約者配当準備金繰入額	189	177	△11
税金等調整前四半期純利益	450	87	△362
法人税等合計	135	△9	△144
少数株主損失（△）	△8	△14	△6
四半期純利益	322	111	△211

連結貸借対照表（要約）

（億円）

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	334,686	332,739	△1,947
うち現預金･コール	5,643	5,946	+302
うち買入金銭債権	2,943	2,933	△9
うち有価証券	270,387	267,236	△3,151
うち貸付金	34,136	33,318	△818
うち有形固定資産	12,546	12,344	△202
うち繰延税金資産	2,845	3,670	+825
負債の部合計	324,769	324,652	△116
うち保険契約準備金	304,899	305,679	+780
うち責任準備金	298,627	299,590	+963
うち退職給付引当金	4,337	4,383	+45
うち価格変動準備金	748	784	+35
純資産の部合計	9,917	8,086	△1,830
うち株主資本合計	5,692	5,429	△262
うちその他の包括利益累計額合計	4,132	2,576	△1,555
うちその他有価証券評価差額金	4,834	3,164	△1,670
うち土地再評価差額金	△616	△396	+219

(1) *特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません*

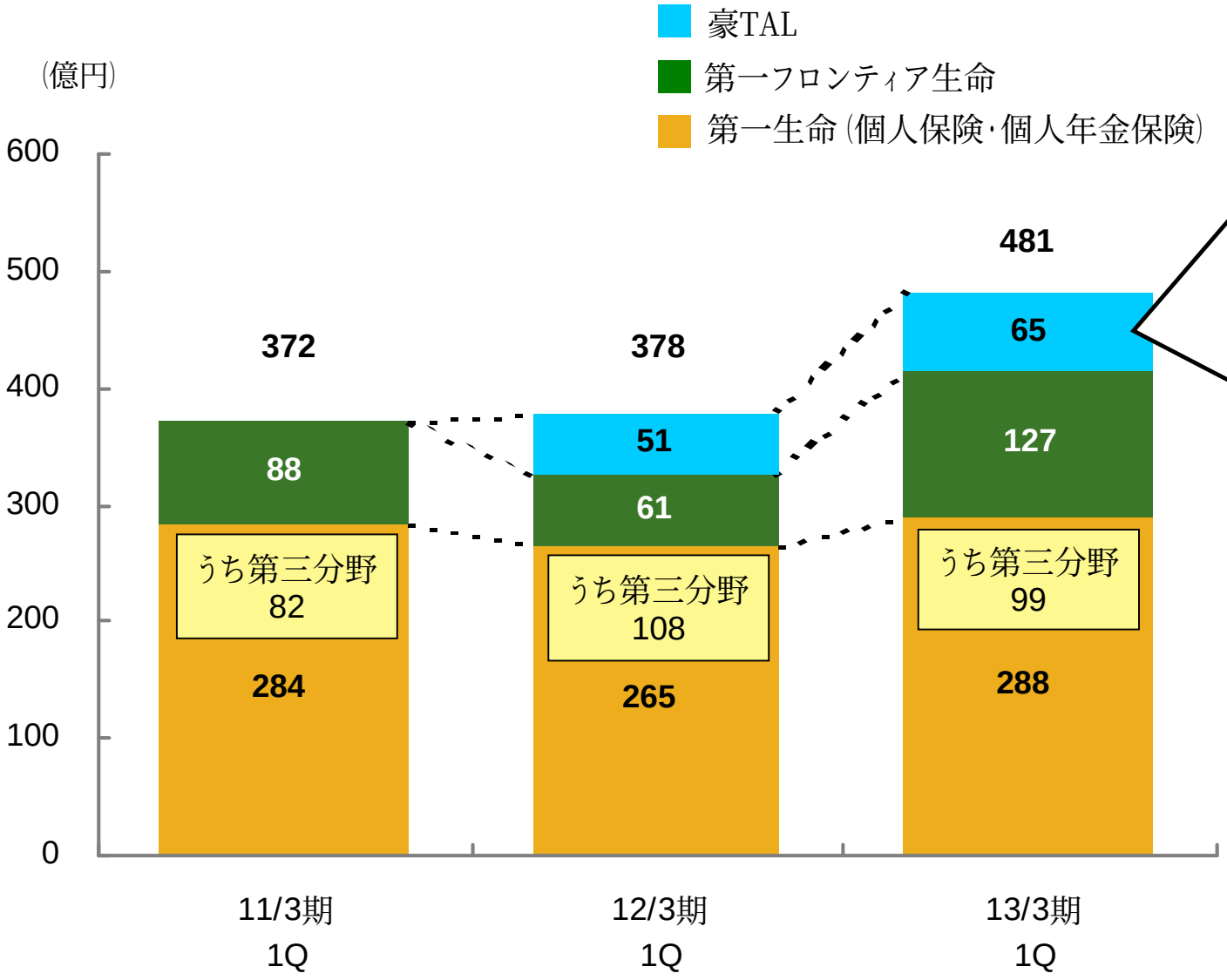
グループ各社の業績

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】(1)			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年同期比	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年同期比	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年同期比	12/3期 1Q	13/3期 1Q	前年同期比
経常収益	10,509	10,689	+2%	585	1,067	+82%	480	574	+20%	11,356	12,016	+6%
保険料等収入	7,448	7,639	+3%	543	909	+67%	385	444	+15%	8,308	8,883	+7%
資産運用収益	2,224	2,399	+8%	41	156	+281%	5	6	+20%	2,213	2,506	+13%
経常費用	9,958	10,283	+3%	667	1,223	+83%	452	513	+13%	10,883	11,721	+8%
保険金等支払金	6,096	6,320	+4%	229	266	+16%	274	291	+6%	6,539	6,792	+4%
責任準備金等繰入額	1,227	649	△47%	383	466	+22%	35	69	+97%	1,554	1,035	△33%
資産運用費用	658	1,353	+105%	23	451	+1814%	16	19	+17%	656	1,767	+169%
事業費	988	955	△3%	28	36	+27%	106	113	+7%	1,114	1,088	△2%
経常損益	551	406	△26%	△ 81	△ 156	--	27	60	+121%	473	294	△38%
特別利益	3	39	+888%	--	--	--	--	--	--	235	39	△83%
特別損失	67	67	△1%	0	0	+209%	--	--	--	69	68	△2%
少数株主損失(△)	--	--	--	--	--	--	--	--	--	△ 8	△ 14	+76%
四半期純損益	173	225	+30%	△ 82	△ 156	--	15	42	+168%	322	111	△66%

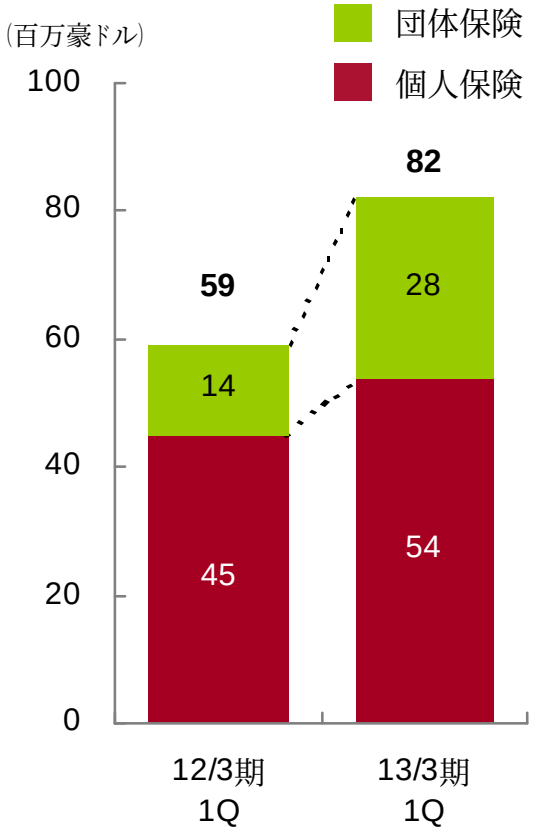
(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

新契約動向（年換算保険料ベース）

第一生命グループの新契約年換算保険料

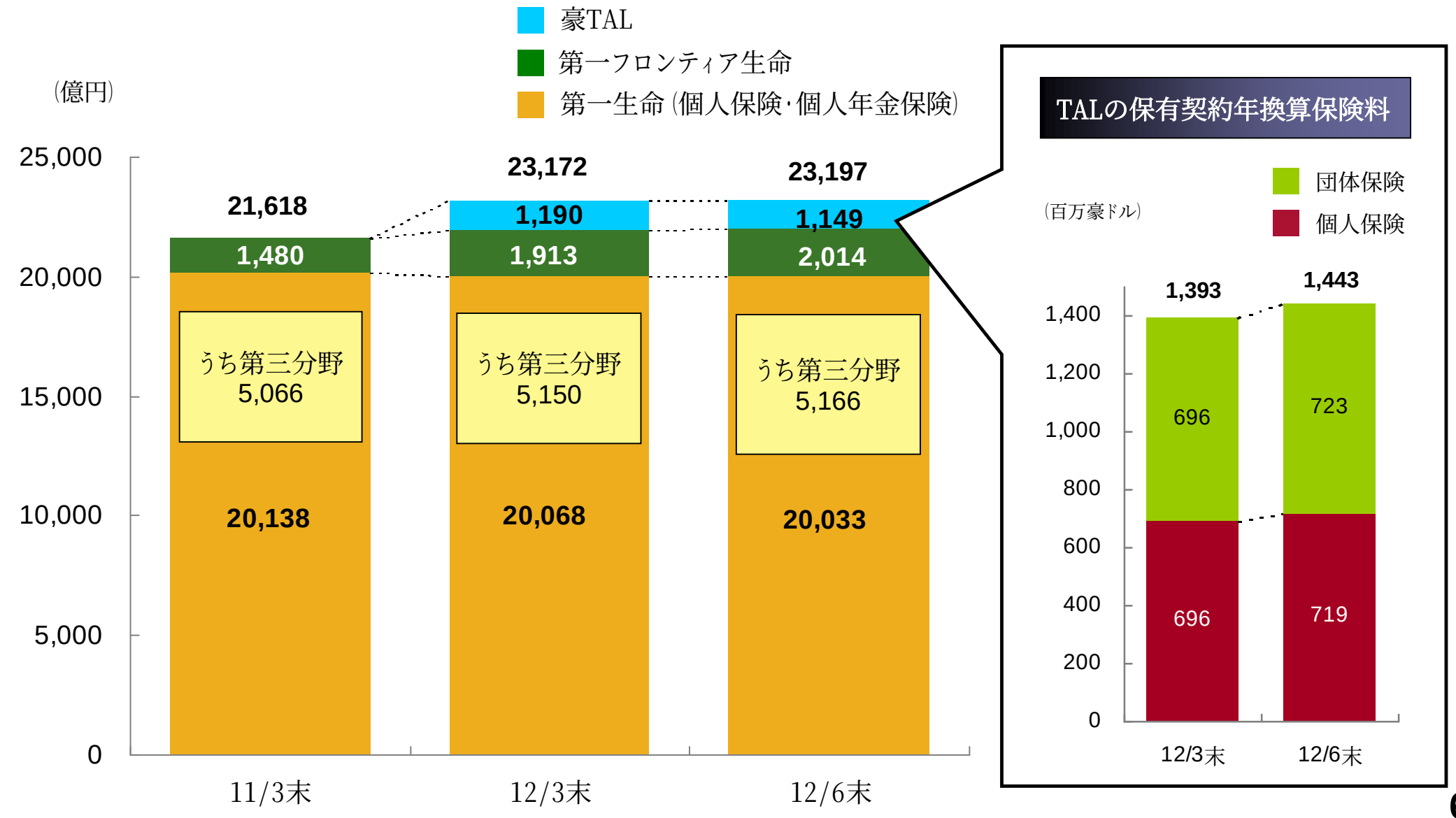


TALの新契約年換算保険料



保有契約動向（年換算保険料ベース）

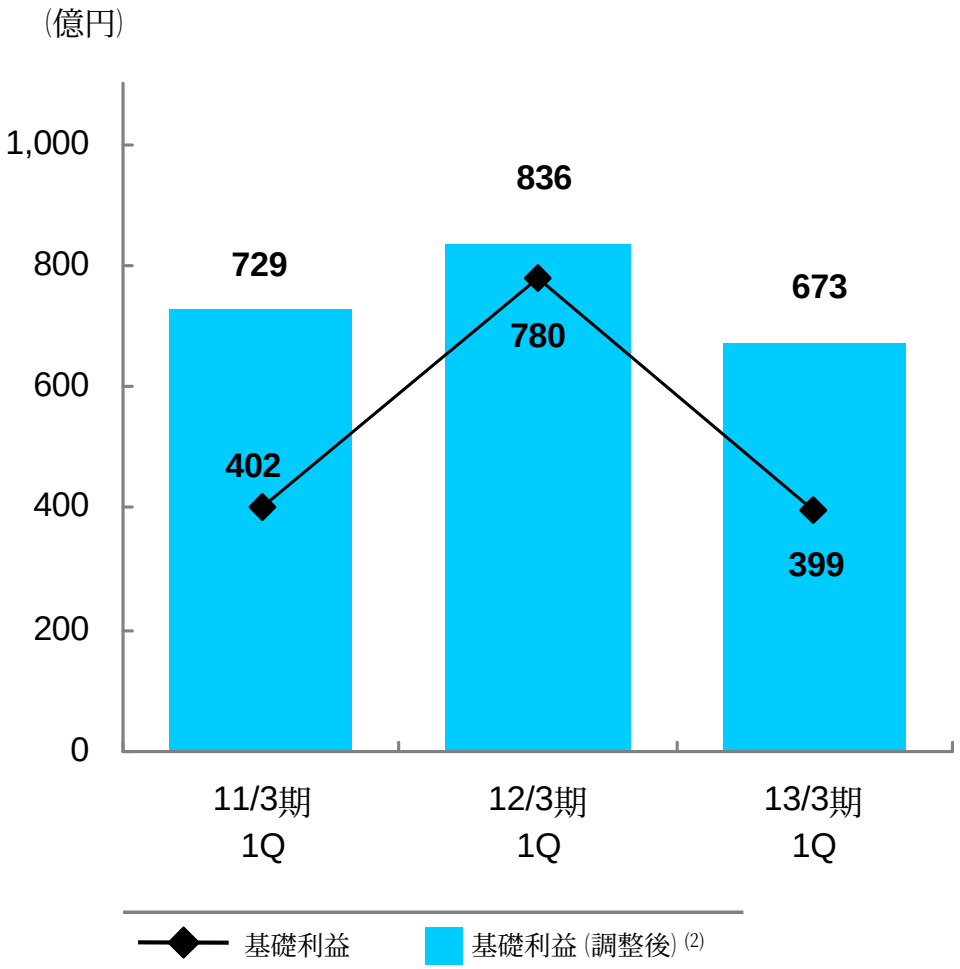
第一生命グループの保有契約年換算保険料



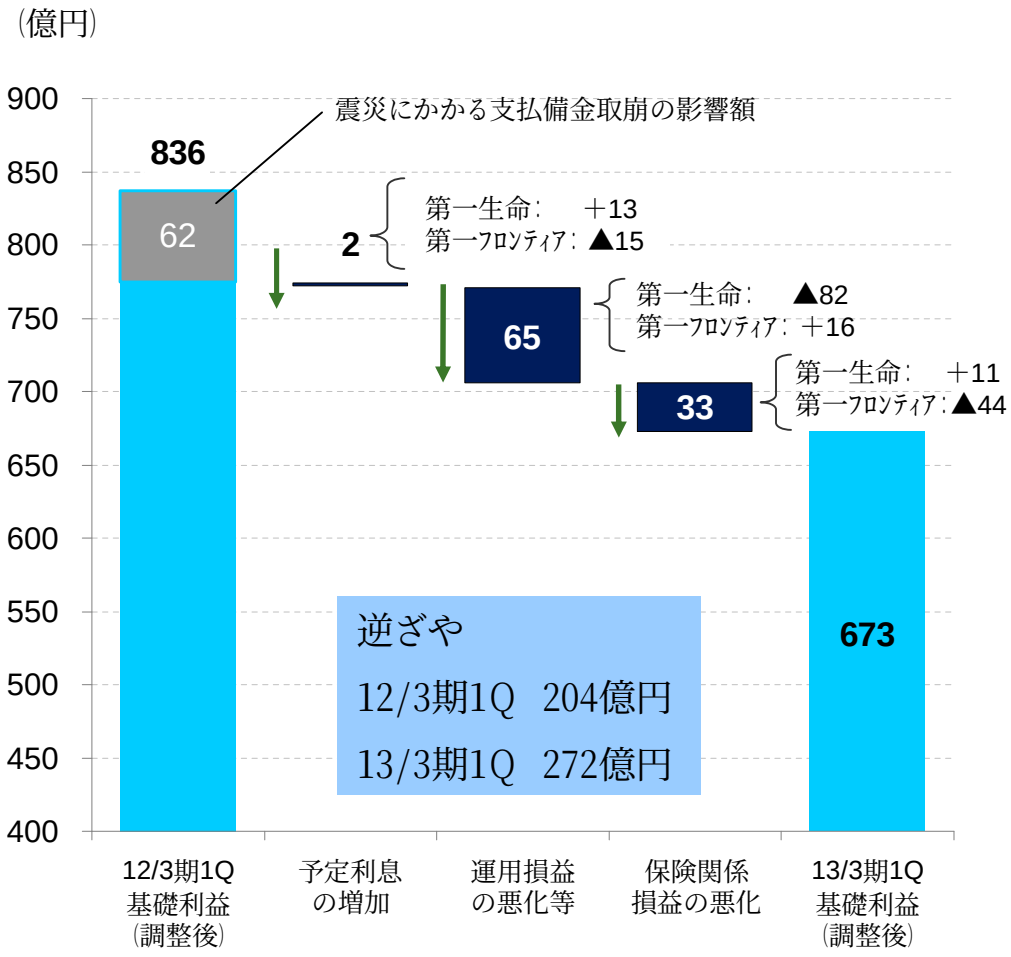
TALの保有契約年換算保険料

基礎利益

基礎利益 (1)



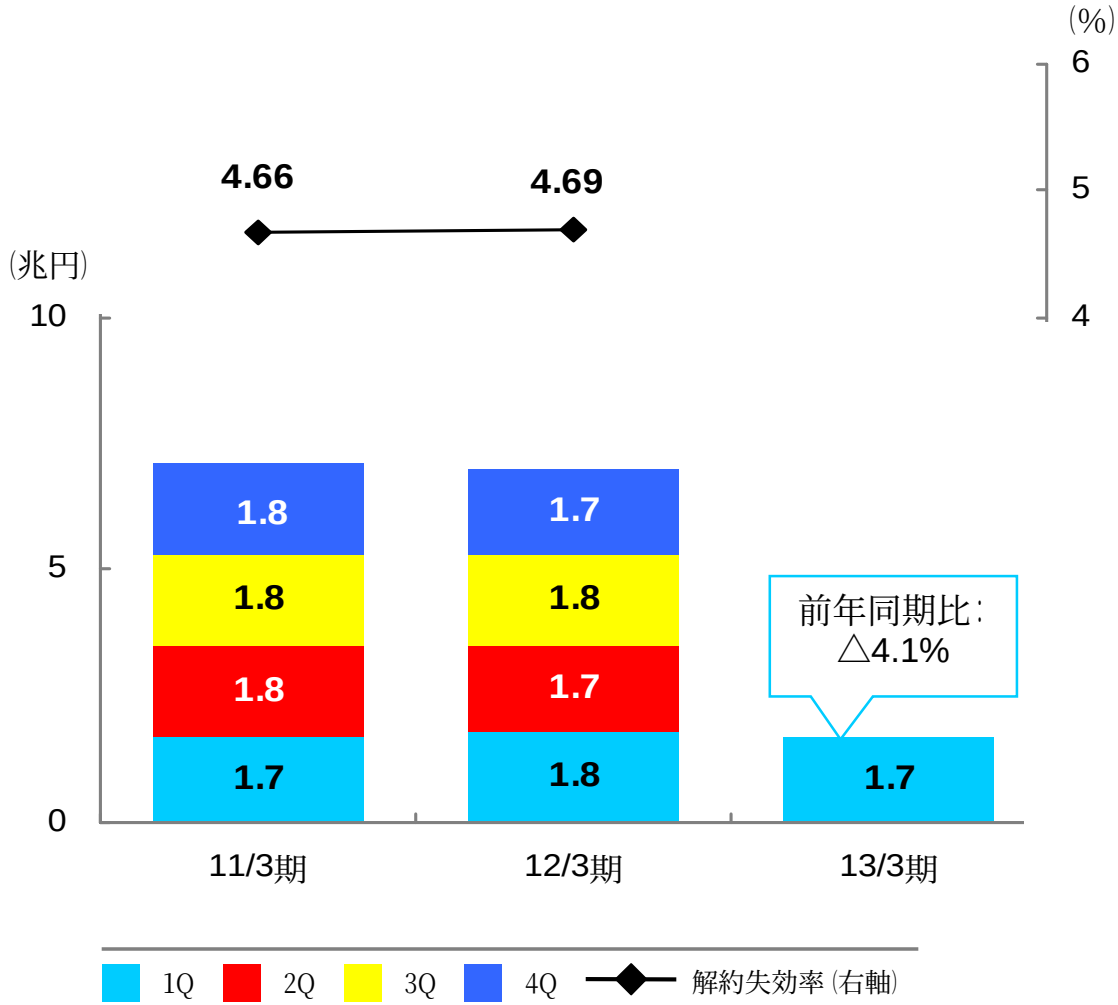
基礎利益 (調整後) の変動要因 (1) (2)



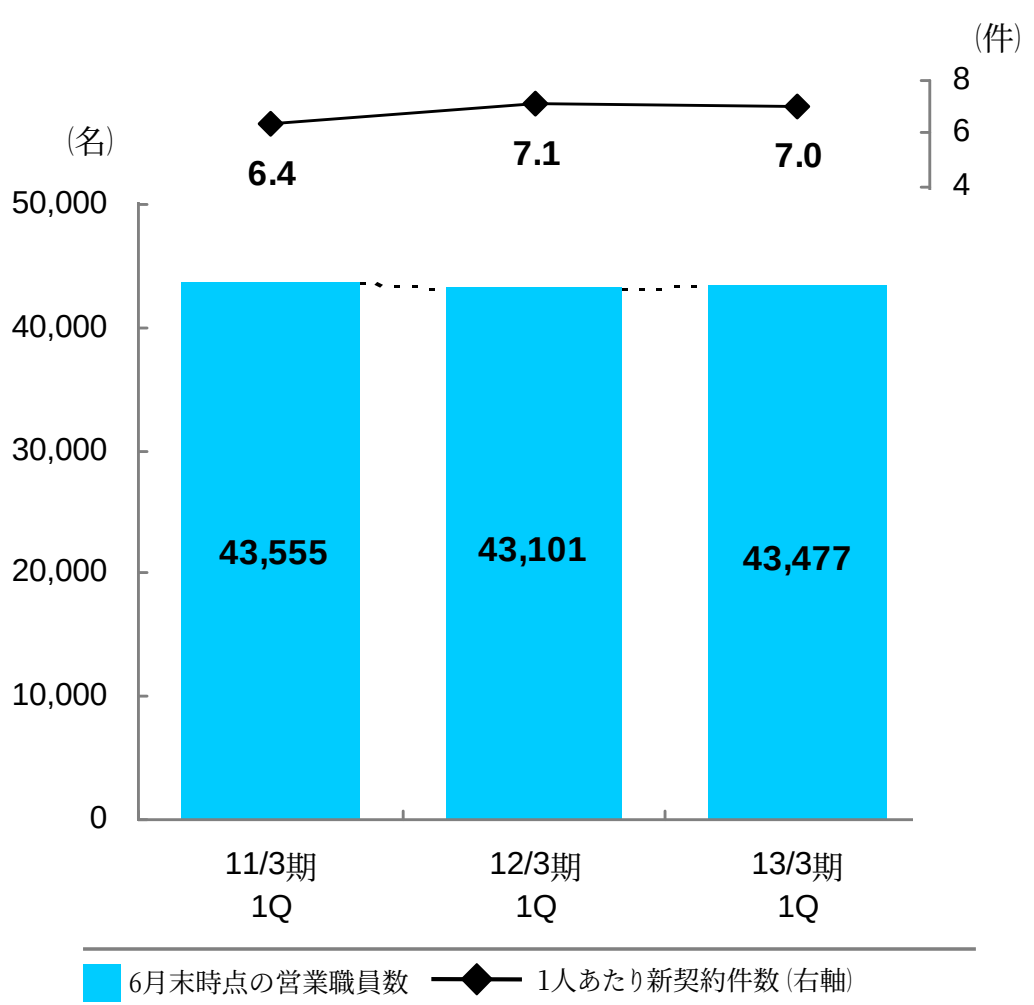
(1) 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース
(2) 基礎利益 (調整後) ＝ 基礎利益 ＋ 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額

解約失効高、営業職員数および生産性

解約失効高（個人保険・個人年金保険）(1)



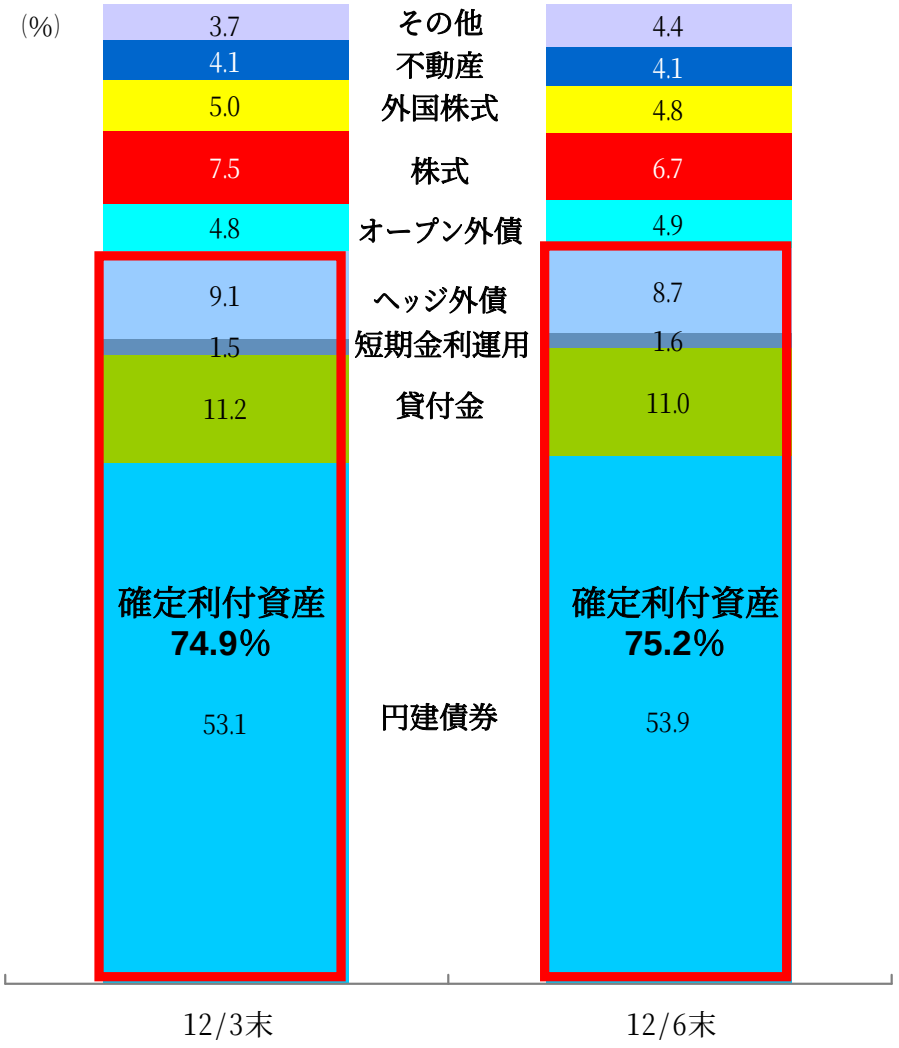
営業職員数および生産性(1) (2)



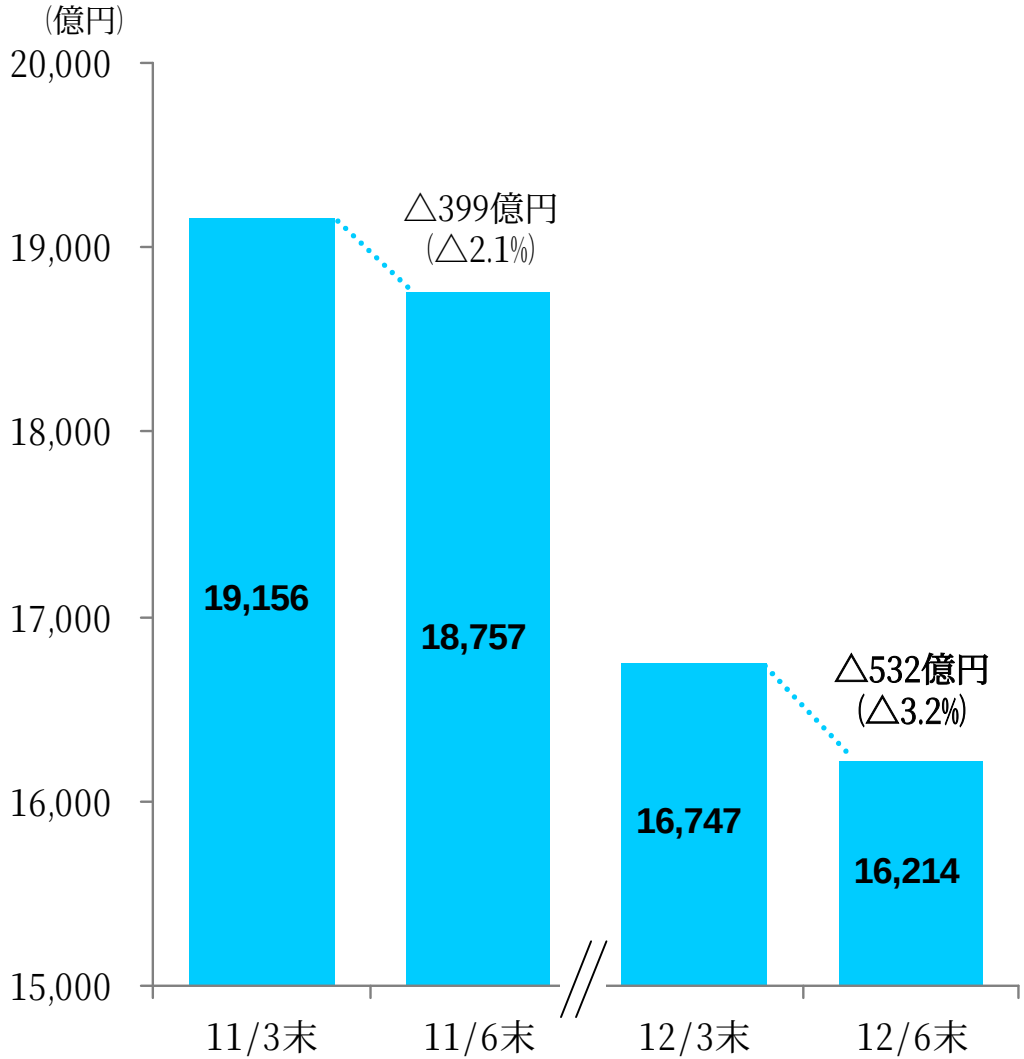
(1) *第一生命単体ベース*
(2) *営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております*

一般勘定資産の状況

資産の構成（一般勘定）(1)



国内株式の簿価 (1) (2)



(1) 第一生命単体ベース
(2) 国内株式のうち時価のあるもの（子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く）

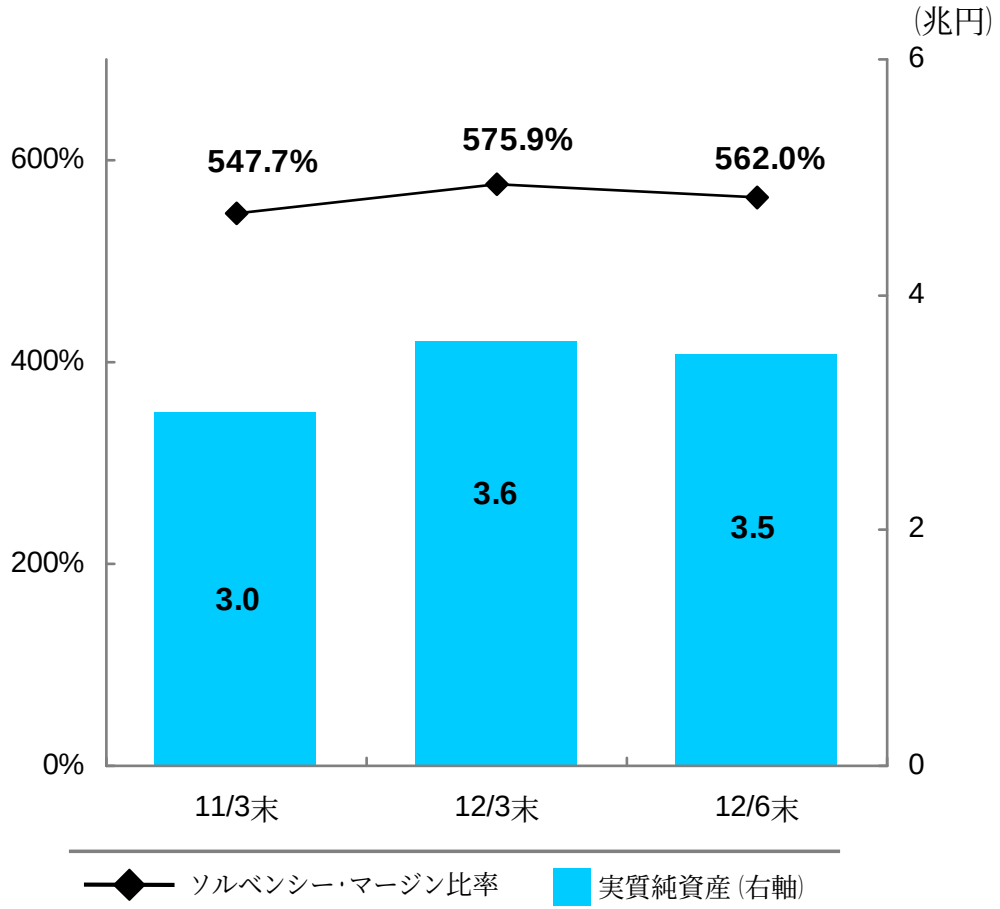
健全性指標

含み損益（一般勘定）(1)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
有価証券	12,156	10,582	△1,573
国内債券	7,906	9,252	+1,346
国内株式	2,978	908	△2,069
外国証券	1,144	348	△795
不動産	△365	△111	+254
その他共計	11,799	10,474	△1,325

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額(1)

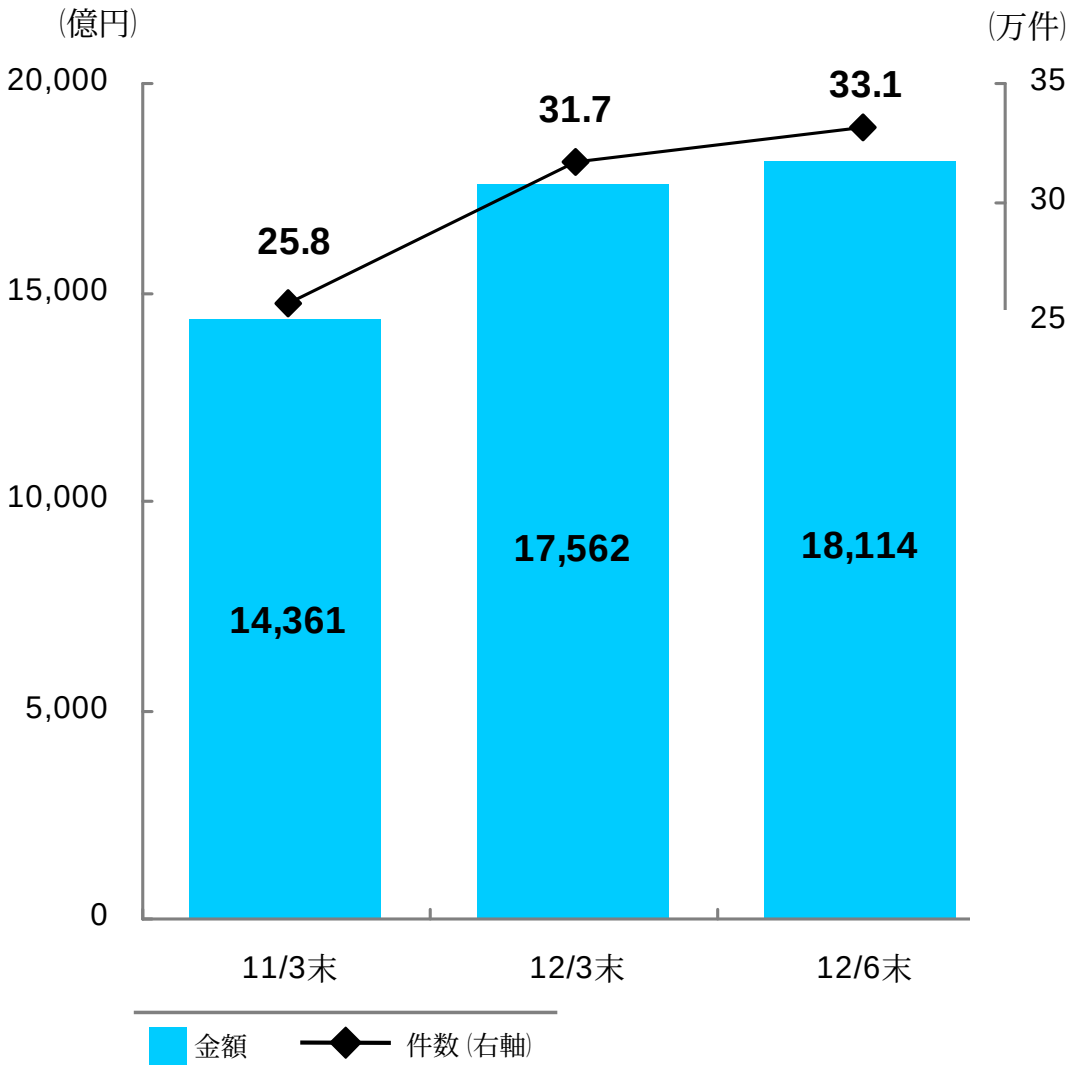


<参考> 2012年6月末　連結ソルベンシー・マージン比率：544.8%

(1)　第一生命単体ベース

第一フロンティア生命①

保有契約高



収支の状況

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q
経常収益	585	1,067
うち保険料等収入	543	909
うち変額商品	195	58
うち定額商品	238	740
うち資産運用収益	41	156
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	113
経常費用	667	1,223
うち責任準備金等繰入額	383	466
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	55	266
うち危険準備金繰入額(C)	46	4
うち資産運用費用	23	451
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	19	-
経常利益(△は損失)	△ 81	△ 156

当期純利益(△は損失)	△ 82	△ 156
当期純利益 －(A)＋(B)＋(C)＋(D)	40	0

【参考】
再保険収支

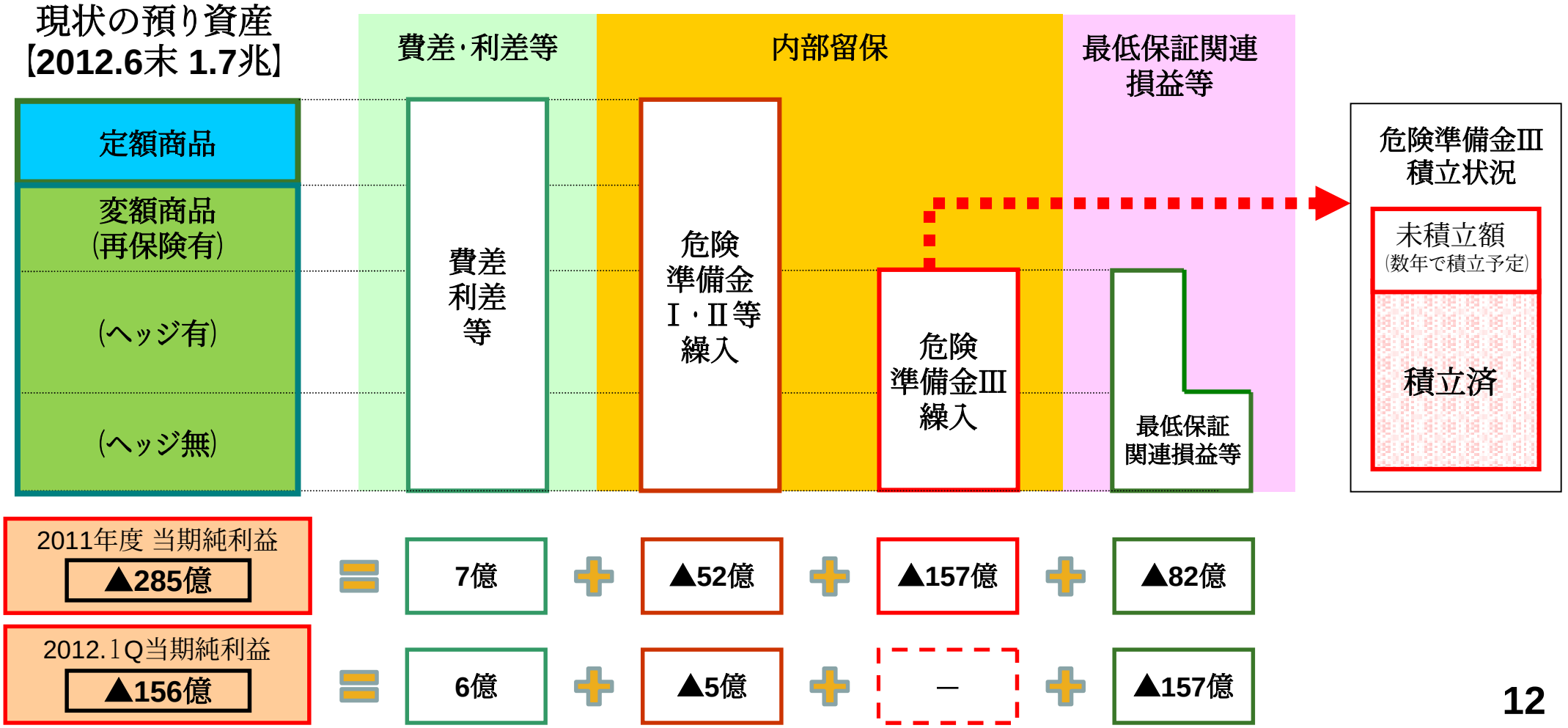
再保険収入	109	109
再保険料	141	150
再保険収支	△ 32	△ 40

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額

繰入額(△は繰入)	0	△ 42

第一フロンティア生命②

- ●費差･利差等　：預り資産残高を積み増すことで費差･利差益等の基礎的収益が増加
- ●内部留保　：危険準備金Ⅲは今後数年で積立限度額に到達予定⇒以降会計利益は大きく改善
- ●最低保証関連損益　：金融環境が悪化した場合は最低保証に係る責任準備金の繰入等が発生（回復時には戻入となる）



豪TAL収支の状況(1)

(百万豪ドル)

	11/6期	12/6期	前年比
経常収益 (2)	480	574	＋20%
うち保険料等収入(2)	385	444	＋15%
経常利益 (2)	27	60	＋121%
純利益(A) (2)	15	42	＋168%
修正額(B)	6	▲ 6	
うち負債割引率の変化	▲ 2	▲ 16	
うち償却負担	5	5	
その他	2	4	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	21	36	＋64%

<参考>

	11/6末	12/6末
為替レート(豪ドル)	86.47円	79.65円

(1) *連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値*
(2) *オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております*

2013年3月期業績予想（期初予想から変更なし）

■ 短期的には内外金融市場の不透明感は払拭できないが、堅調な営業業績や、通期での運用収支の改善見込みを考慮し、業績予想は据え置き

（億円）

		12/3期	13/3期（予）	増減
経常収益		49,317	45,960	△ 3,357
	第一生命単体	43,982	39,880	△ 4,102
	第一フロンティア	4,148	4,430	+ 281
	TAL（百万豪ドル）	2,041	2,090	+ 48
経常利益		2,259	1,380	△ 879
	第一生命単体	2,437	1,560	△ 877
	第一フロンティア	△ 282	△ 250	+ 32
	TAL（百万豪ドル）	142	100	△ 42
当期純利益		203	250	+ 46
	第一生命単体	176	440	+ 263
	第一フロンティア (1)	△ 257	△ 234	+ 23
	TAL（百万豪ドル）	93	70	△ 23
1株当たり配当金		1,600円	1,600円	±0円

（参考）

基礎利益 （第一生命単体）	3,024	2,700程度	△ 324

(1)　持分考慮後

ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー（1）

■ グループEEVは厳しい金融環境の下においても前期末比約1,100億円減にとどまる

第一生命グループのEEV（試算値）

（億円）

	12/3末	12/6末	増減
EEV	26,615	約25,500	約△1,100
修正純資産	18,670	約18,100	約△600
保有契約価値	7,944	約7,400	約△500

第一生命（単体、試算値）

（億円）

	12/3末	12/6末	増減
EEV	27,150	約26,200	約△1,000
修正純資産	19,962	約19,500	約△500
保有契約価値	7,187	約6,700	約△500

第一フロンティア生命（試算値）

（億円）

	12/3末	12/6末	増減
EEV	1,222	約1,100	約△100
修正純資産	1,132	約1,100	約△100
保有契約価値	89	約100	約△0

(1)　2012年6月末の保有契約をベースとしています。
(2)　経済前提は2012年6月末、非経済前提は2012年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。
※　なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(2)

TAL(試算値)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	1,364	約1,300	約△0
修正純資産	687	約700	約△0
保有契約価値	676	約700	約＋0

＜参考＞TAL(豪ドルベース、試算値)

(百万豪ドル)

	12/3末	12/6末	増減
EEV	1,596	約1,700	約＋100
修正純資産	805	約800	約＋0
保有契約価値	791	約900	約＋100

12/3末EEV:
　　12/3末の為替レート(1豪ドル＝85.45円)を使用

12/6末EEV:
　　12/6末の為替レート(1豪ドル＝79.65円)を使用

(1)　2012年6月末の保有契約をベースとしています。
(2)　経済前提は2012年6月末、非経済前提は2012年3月末のものを用いています。また、保有契約価値の計算において、一部簡易な計算を実施しています。
※　なお、上記試算の妥当性について、第三者の検証は受けておりません。

米国資産運用会社
ジャナスキャピタルグループへの
出資および業務提携について

本件の概要

第一生命保険株式会社（以下「当社」または「第一生命」）は、米国の資産運用会社であるジャナスキャピタルグループ（Janus Capital Group Inc. 以下「ジャナス社」）の株式の15%以上（上限20%）を取得することについて合意し、同社と出資・業務提携契約を締結

【出資の概要】

- 必要となる日米関係当局への届出等を前提として、原則1年以内にジャナス社株式の15%以上（上限20%）を取得
- 当社は新株予約権を取得しており、市場からの株式取得に加えて、新株予約権を行使することにより株式を取得することが可能
- 出資比率が15%以上に達した場合、取締役1名の派遣が可能となり、取締役派遣後に同社に持分法を適用する予定

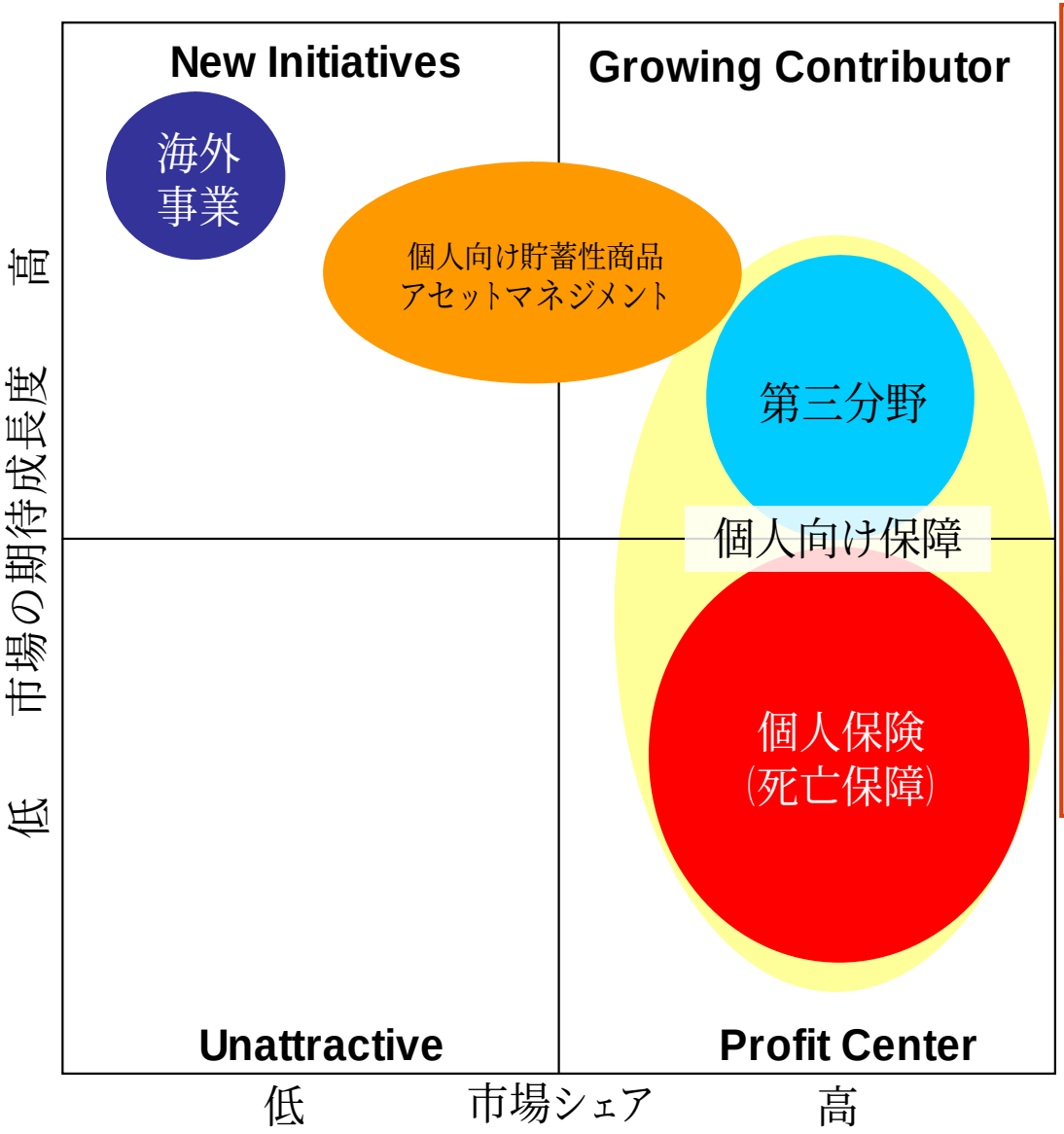
【業務提携の概要】

- 以下の取組により、第一生命グループおよびジャナス社双方の企業価値向上を図る
  - ✓ 人財・ノウハウ交流（常駐リエゾン及びトレーニーの派遣・受入等）
  - ✓ 当社によるジャナス社への運用外部委託
  - ✓ DIAMを通じたジャナス社委託商品の日本販売
  - ✓ ジャナス社と共同でDIAMの米国ビジネスの拡大支援を検討

本件の戦略的位置づけ

第一生命

■ 中期経営計画において、国内生保事業（第三分野・貯蓄事業）、海外生保事業、アセットマネジメント事業を成長分野として位置付け。



国内生保事業

死亡保障市場
- 第一分野におけるシェア向上
- 事業費効率の改善

成長市場
- 第三分野
- 個人向け貯蓄性商品

海外生保事業

- アジア太平洋地域における展開

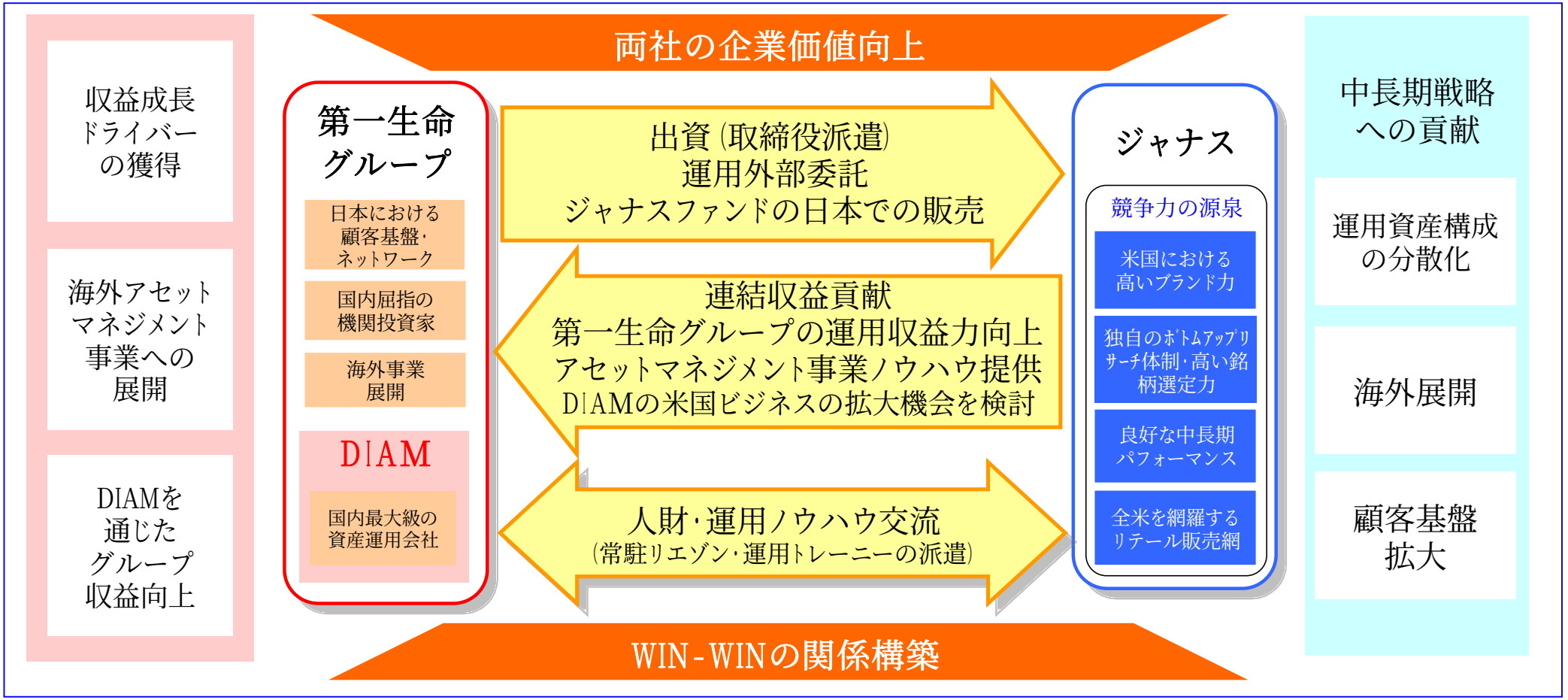
アセットマネジメント事業

- DIAMアセットマネジメントの預り資産の成長
- 国内外で成長の機会を追求

- 内部成長のみならず、M&Aなど外部成長の機会を志向

出資･業務提携の全体像

■ 第一生命グループおよびジャナス社双方の企業価値向上を目指す
- ✓ 新たな成長ドライバー獲得による第一生命グループの収益力向上、グローバル展開加速
- ✓ ジャナス社の中長期戦略を後押しする提携メニューの実現による企業価値向上



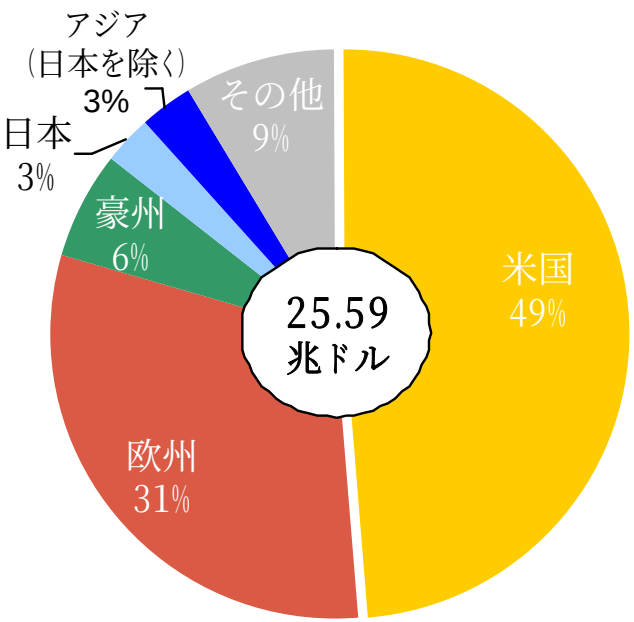
※DIAMはみずほフィナンシャルグループと第一生命が折半出資する資産運用会社

米国アセットマネジメント市場

- 米国アセットマネジメント市場は、家計への投信普及が進んだ世界最大のマーケット
- リタイアメント層からの資金流入や継続的な人口増加により、将来的にも高い成長性が期待

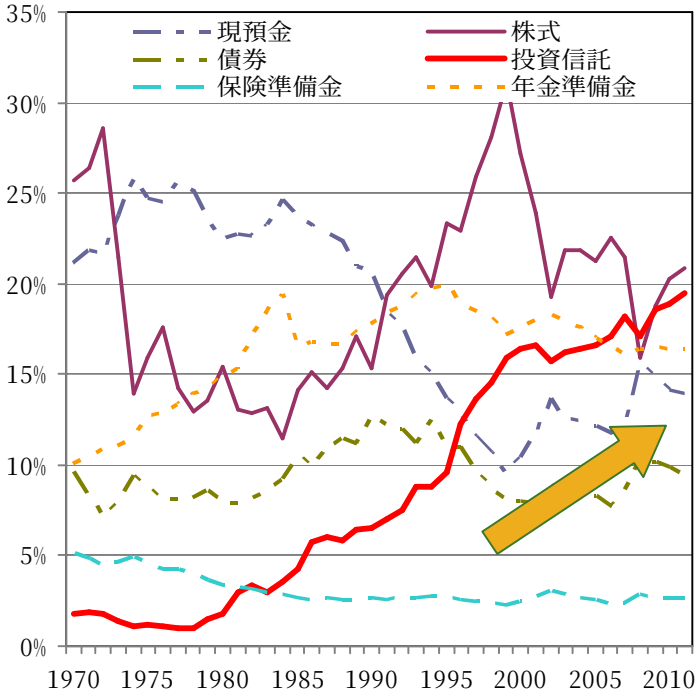
➡ ジャナス社への出資を通じて米国アセットマネジメント市場の成長性を享受

地域別投信残高構成比（2012年3月）



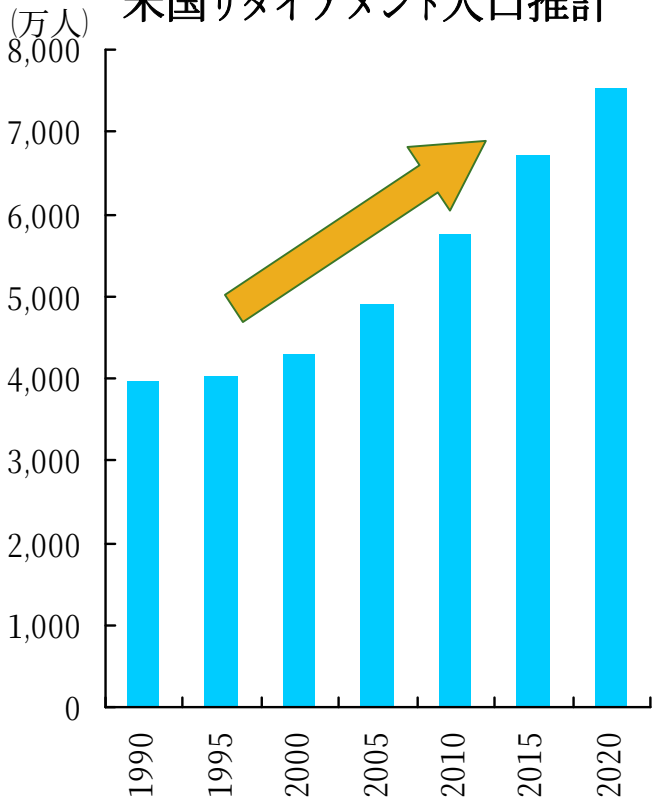
出所：ICI統計データより作成

米国家計金融資産構成比率



出所：米国連邦準備制度理事会統計、野村資本市場研究所資料より作成

米国リタイアメント人口推計



出所：国際連合人口部 将来人口推計2010より作成

第一生命

会社概要①

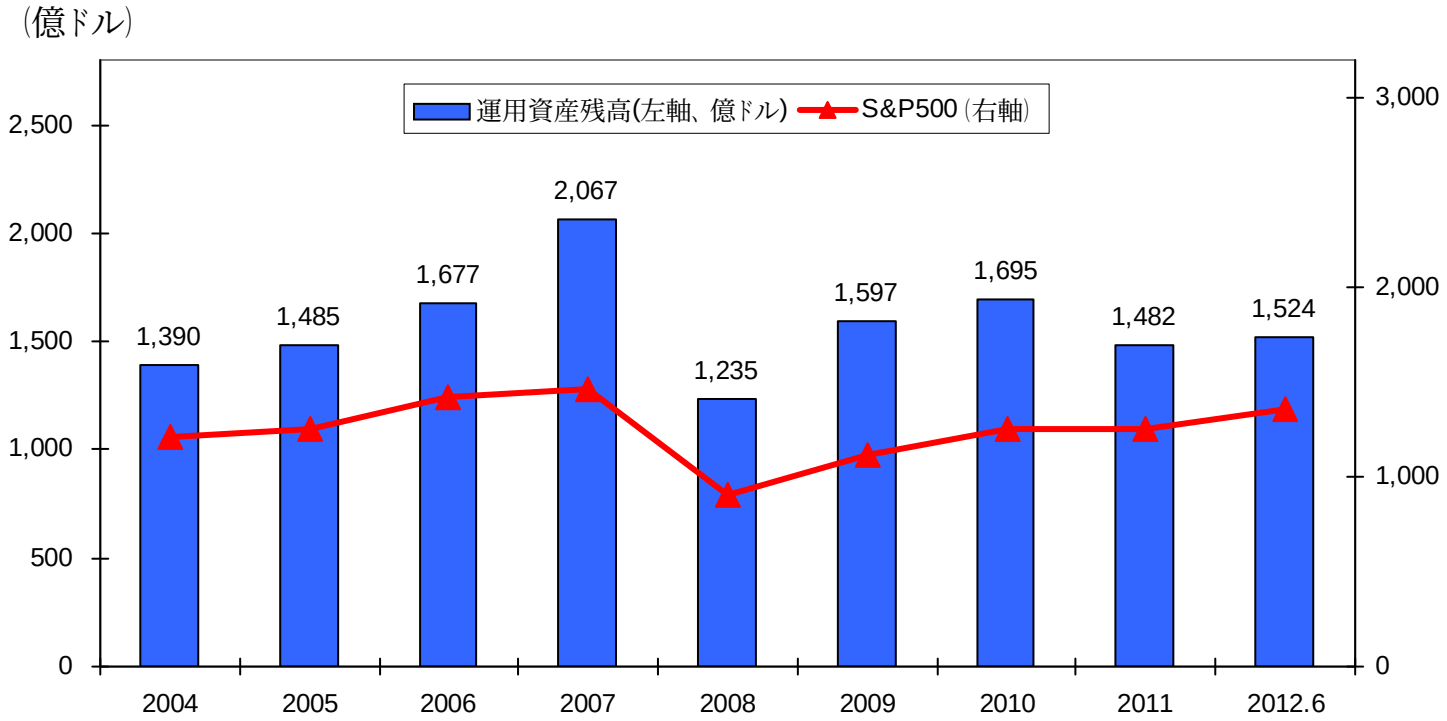
- 1969年創業、コロラド州デンバーを本拠とする独立系上場運用会社
- 株式運用を中心に高い競争力とブランド力を有しており、傘下に運用スタイルの異なる運用会社3社を擁する
- 米国では運用資産残高で34位、投資信託分野で16位（2010年末）

会社名	Janus Capital Group Inc.
業務の内容	米国における資産運用事業
代表者	リチャード・ワイル（Richard Weil）
上場	2000年6月 ニューヨーク証券取引所上場
売上高	981.9百万米ドル（2011年12月期）
税引後利益	142.9百万米ドル（2011年12月期）
純資産	1349.1百万米ドル（2011年12月末）
運用資産額	1,524億米ドル（2012年6月末）
時価総額	1,059億円（2012年7月末）
本社	コロラド州デンバー
主な海外拠点	フランクフルト、ハーグ、香港、ロンドン、メルボルン、ミラノ、ミュンヘン、パリ、シンガポール 東京、チューリヒ

会社概要②

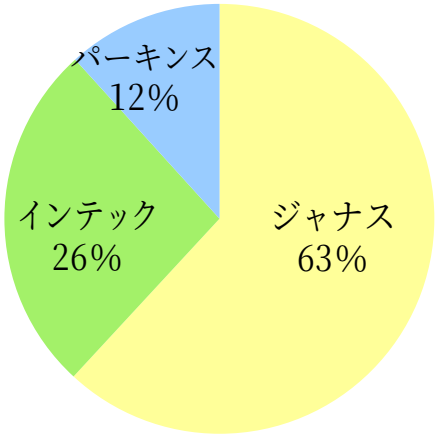
運用資産残高推移

運用資産残高及びS&P500の推移

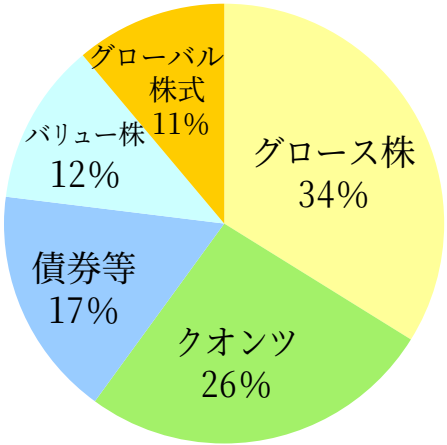


運用資産構成

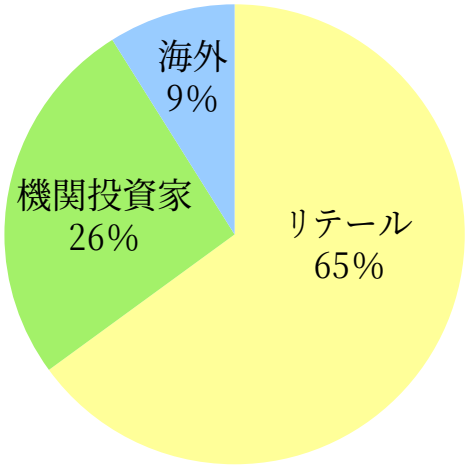
【ブランド別】 (2012.6時点)



【アセット別】 (2012.6時点)



【顧客別】 (2012.6時点)

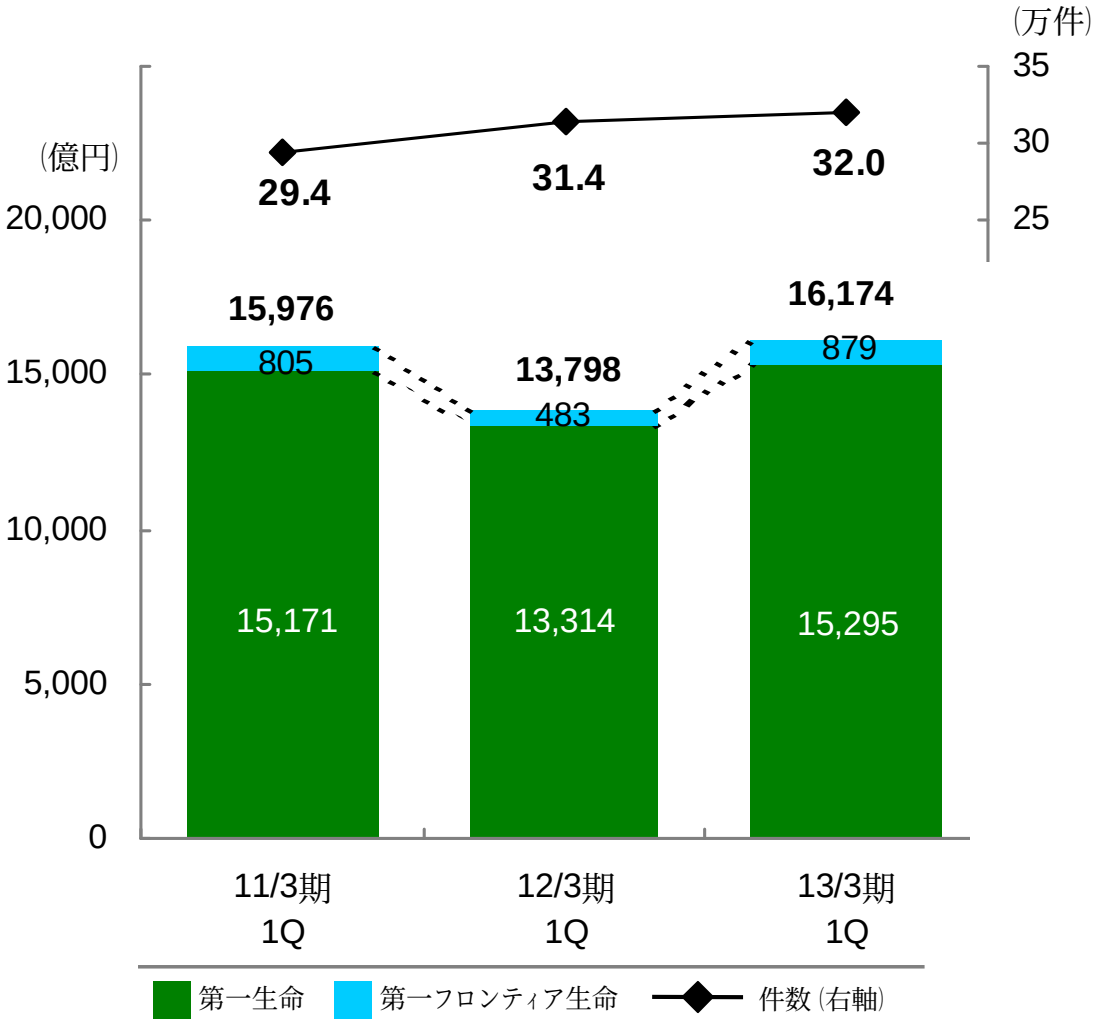


出所:ジャナス社開示資料より作成

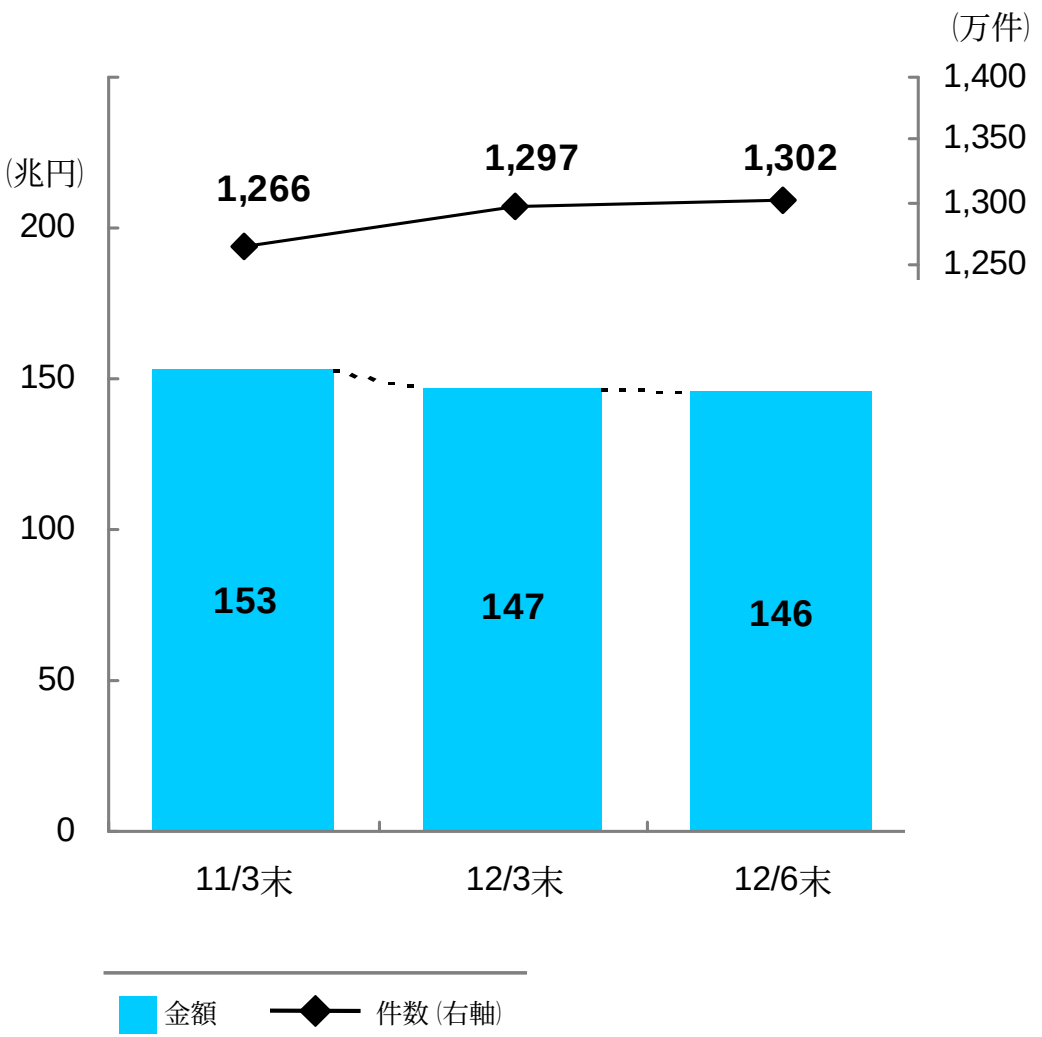
参考データ

新契約動向（個人保険・個人年金保険）

新契約高 (1)



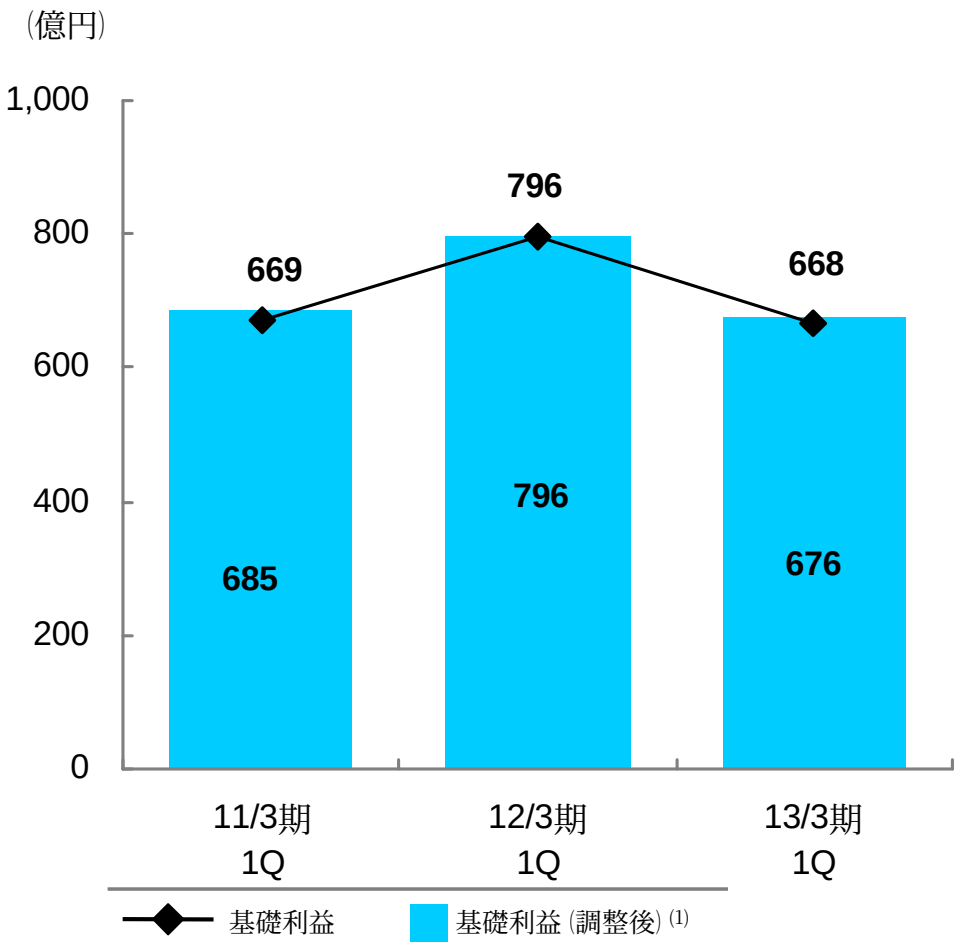
保有契約高 (1)



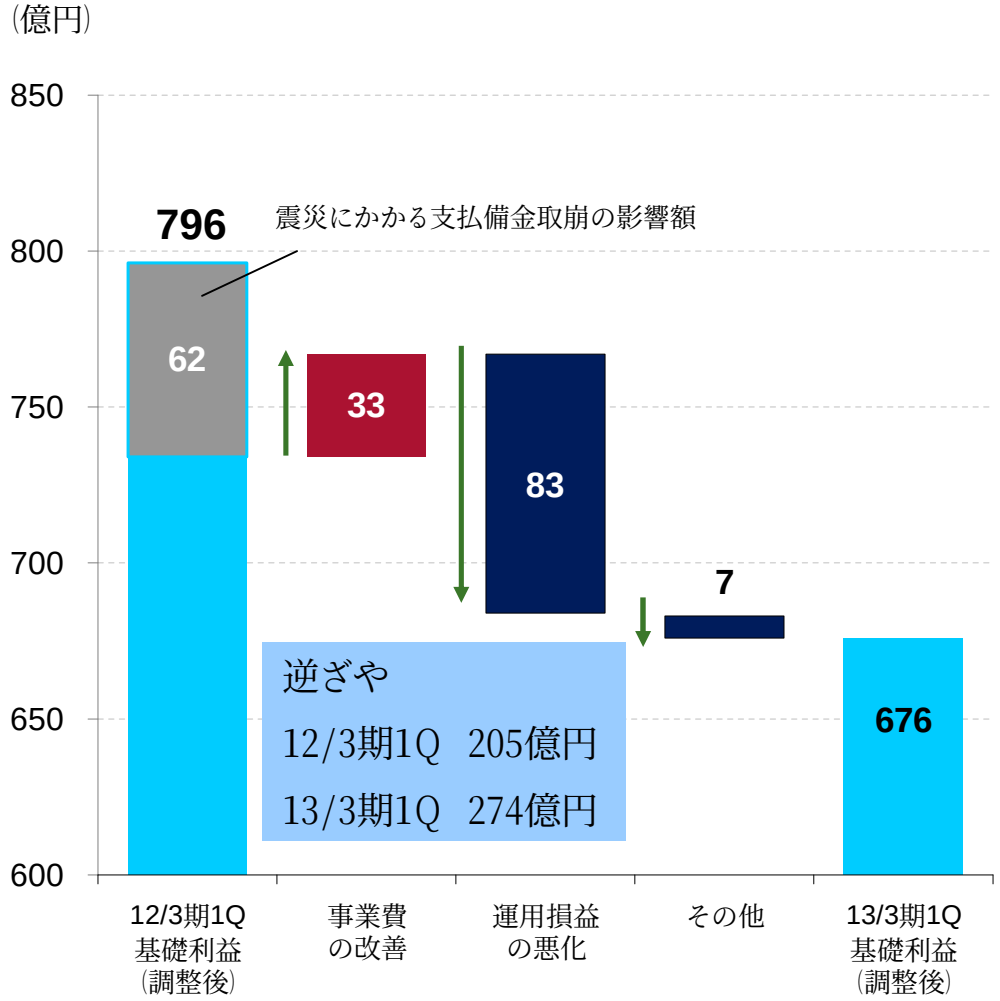
(1)　第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

第一生命(単体)基礎利益

基礎利益



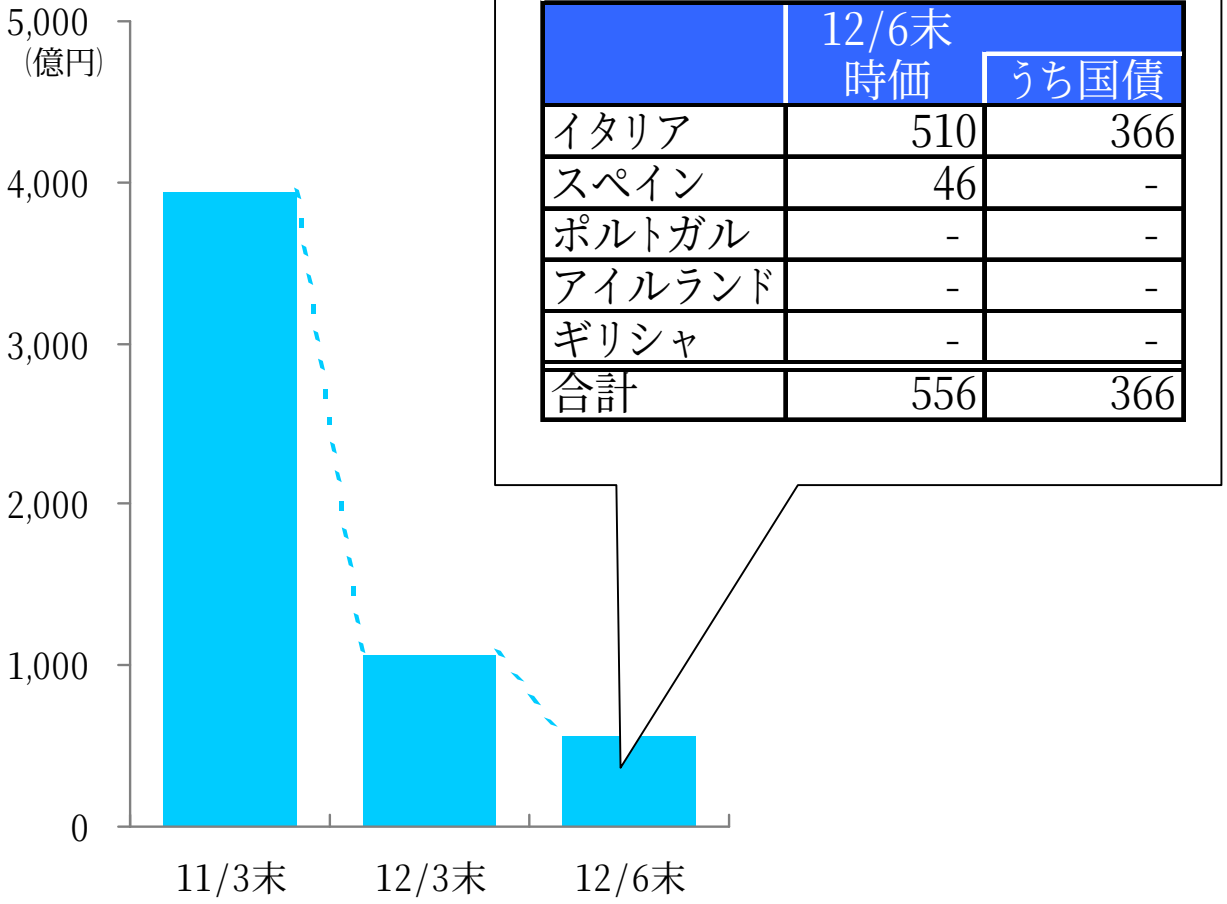
基礎利益(調整後)の変動要因(1)



(1) *基礎利益(調整後) = 基礎利益 + 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入額*

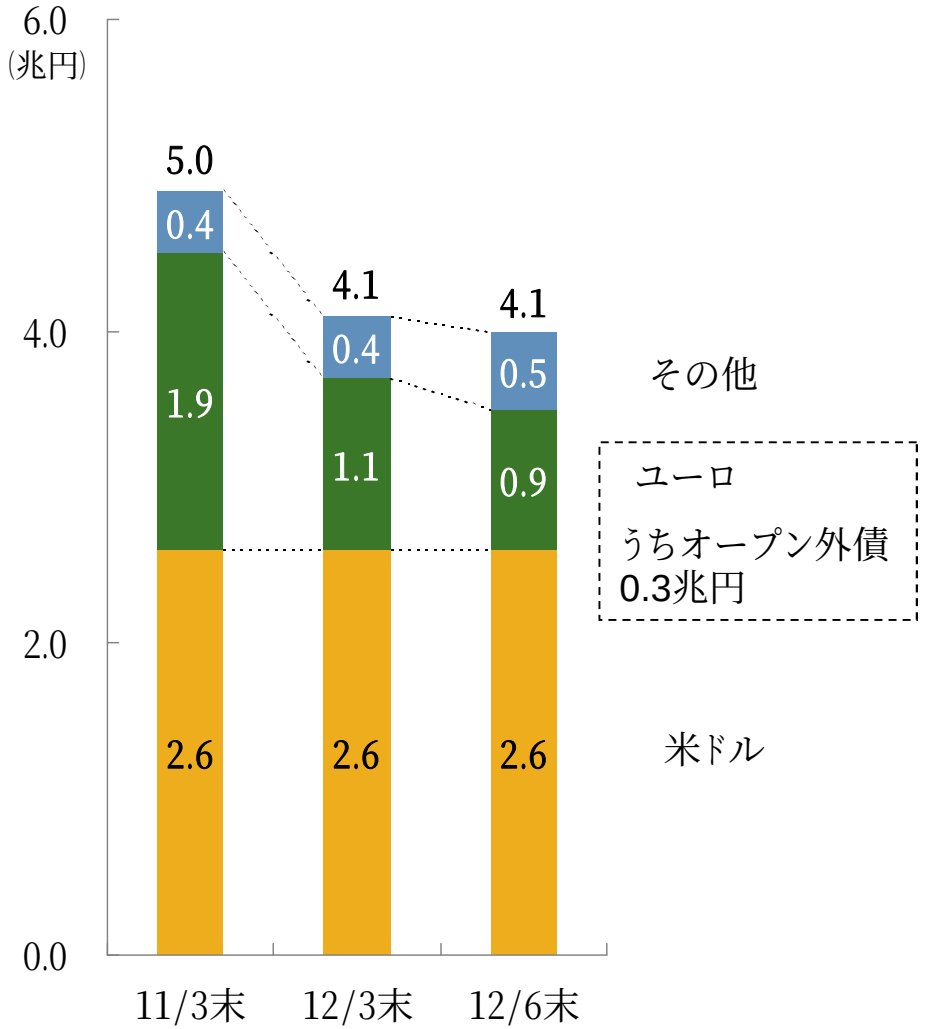
一般勘定資産のユーロ圏への投資状況

ユーロ圏一部諸国への投資額（時価ベース）(1)



	12/6末 時価	うち国債
イタリア	510	366
スペイン	46	-
ポルトガル	-	-
アイルランド	-	-
ギリシャ	-	-
合計	556	366

外債の通貨別残高 (2)



(1) 外部委託運用を除く
(2) 貸借対照表価額（円建の外債を除く）

第一生命(単体)財務諸表

損益計算書(要約) (1)

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	10,509	10,689	+180
保険料等収入	7,448	7,639	+191
資産運用収益	2,224	2,399	+174
うち利息・配当金等収入	1,740	1,666	△73
うち有価証券売却益	445	708	+262
うち金融派生商品収益	19	16	△3
その他経常収益	836	650	△185
経常費用	9,958	10,283	+324
うち保険金等支払金	6,096	6,320	+224
うち責任準備金等繰入額	1,227	649	△577
うち資産運用費用	658	1,353	+694
うち有価証券売却損	142	127	△15
うち有価証券評価損	204	494	+290
うち特別勘定資産運用損	54	496	+442
うち事業費	988	955	△33
経常利益	551	406	△144
特別利益	3	39	+35
特別損失	67	67	△0
契約者配当準備金繰入額	189	177	△11
税引前四半期純利益	297	200	△97
法人税等合計	123	△24	△148
四半期純利益	173	225	+51

貸借対照表(要約)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	314,619	312,657	△1,962
うち現預金・コール	4,992	5,344	+351
うち買入金銭債権	2,943	2,933	△9
うち有価証券	253,334	250,195	△3,138
うち貸付金	34,125	33,306	△818
うち有形固定資産	12,541	12,339	△202
うち繰延税金資産	2,826	3,648	+822
負債の部合計	304,335	303,994	△341
うち保険契約準備金	285,299	285,775	+476
うち責任準備金	280,116	280,742	+626
うち危険準備金	4,230	4,275	+45
うち退職給付引当金	4,320	4,362	+42
うち価格変動準備金	744	779	+35
純資産の部合計	10,283	8,663	△1,620
うち株主資本合計	6,103	5,955	△148
うち評価・換算差額等合計	4,178	2,706	△1,471
うちその他有価証券評価差額金	4,794	3,106	△1,688
うち土地再評価差額金	△616	△396	+219

(1) *特別勘定資産運用損は、責任準備金の戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません*

第一フロンティア生命財務諸表

損益計算書(要約)

(億円)

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	585	1,067	+481
うち保険料等収入	543	909	+365
うち資産運用収益	41	156	+115
経常費用	667	1,223	+556
うち保険金等支払金	229	266	+36
うち責任準備金等繰入額	383	466	+83
うち資産運用費用	23	451	+427
うち事業費	28	36	+7
経常利益(△は損失)	△81	△156	△74
特別損益	△0	△0	△0
税引前四半期純利益(△は損失)	△82	△156	△74
法人税等合計	0	0	△0
四半期純利益(△は損失)	△82	△156	△74

貸借対照表(要約)

(億円)

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	18,606	18,893	+286
うち現預金・コール	232	202	△29
うち有価証券	17,668	17,829	+160
負債の部合計	17,699	18,114	+414
うち保険契約準備金	17,498	17,964	+465
うち責任準備金	17,485	17,952	+466
うち危険準備金	571	576	+4
純資産の部合計	906	778	△127
うち株主資本合計	867	710	△156
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△982	△1,139	△156

豪TAL財務諸表

損益計算書（要約）(1) (2)

（百万豪ドル）

	12/3期 1Q	13/3期 1Q	増減
経常収益	480	574	93
保険料等収入	385	444	59
資産運用収益	5	6	1
その他経常収益	89	122	33
経常費用	452	513	60
保険料等支払金	274	291	17
責任準備金等繰入額	35	69	34
資産運用費用	16	19	2
事業費	106	113	7
その他経常費用	20	19	△1
経常利益	27	60	33
法人税等	11	18	6
四半期純利益	15	42	26
修正利益 (Underlying profit)	21	36	14

貸借対照表（要約）(1) (2) (3)

（百万豪ドル）

	12/3末	12/6末	増減
資産の部合計	5,067	5,075	7
現預金･コール	378	382	3
有価証券	2,659	2,611	△48
有形固定資産	2	2	△0
無形固定資産	1,294	1,286	△8
のれん	783	783	-
その他の無形固定資産	511	502	△8
再保険貸	90	112	22
その他資産	641	679	38
負債の部合計	3,343	3,314	△29
保険契約準備金	2,369	2,329	△40
再保険借	215	226	11
その他負債	670	666	△4
繰延税金負債	87	90	3
純資産の部合計	1,724	1,761	37
株主資本合計	1,724	1,761	37
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	93	130	37

(1)　連結対象の豪持株会社（TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd）に係る数値
(2)　オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております（修正利益を除く）
(3)　2013年3月期第1四半期の開示より、当社の開示基準に準じて、繰延税金資産･負債を純額にて表示しております。

金融市場への感応度（2012年6月末、第一生命単体）

	感応度(1)	含み損益ゼロ水準(2)
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,900億円の増減 (2012年3月末：1,900億円)	日経平均株価 \8,100 (2012年3月末：\8,400)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,100億円の増減 (2012年3月末：2,000億円)	10年国債利回り 1.3% (2012年3月末：1.4%)
外国証券	ドル／円 1円の変動で 230億円の増減 (2012年3月末：220億円)	ドル／円 $1 = \85 (2012年3月末：\84)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社
経営企画部　IR室
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2012年8月10日
第一生命保険株式会社

2013年3月期第1四半期報告 財務・業績の概況

①契約の状況等（第一生命と第一フロンティア生命の合算値）

		2013年3月期 第1四半期	前年度末比	前年同期比	2012年3月期 第1四半期	2012年3月期
新契約年換算保険料（合算値）	（百万円）	41,607	―	+27.5	32,645	175,203
うち第一生命分	（百万円）	28,852	―	+8.8	26,524	128,014
うち第三分野	（百万円）	9,987	―	△ 7.8	10,836	41,975
保有契約年換算保険料（合算値）	（百万円）	2,204,771	+0.3	+2.0	2,161,071	2,198,197
うち第一生命分	（百万円）	2,003,359	△ 0.2	△ 0.2	2,007,974	2,006,861
うち第三分野	（百万円）	516,681	+0.3	+1.4	509,371	515,044
保険料等収入（合算値）	（百万円）	854,909	―	+7.0	799,212	3,404,668
うち個人保険分野	（百万円）	556,700	―	+9.5	508,554	2,378,786
うち団体保険分野	（百万円）	275,289	―	+2.9	267,478	938,529
保険料等収入（第一生命分）	（百万円）	763,995	―	+2.6	744,881	3,056,096
うち個人保険分野	（百万円）	476,775	―	+2.5	465,125	2,072,090
うち団体保険分野	（百万円）	275,289	―	+2.9	267,478	938,529
新契約高（合算値）	（百万円）	1,617,416	―	+17.2	1,379,845	7,396,821
うち第一生命分	（百万円）	1,529,516	―	+14.9	1,331,495	7,051,996
保有契約高（合算値）	（百万円）	146,511,932	△ 0.9	△ 3.3	151,500,799	147,891,788
うち第一生命分	（百万円）	144,700,468	△ 1.0	△ 3.6	150,026,617	146,135,492
解約・失効高（合算値）	（百万円）	1,736,468	―	△ 4.0	1,809,341	7,149,268
うち第一生命分	（百万円）	1,728,872	―	△ 4.1	1,803,247	7,122,356
解約・失効率（合算値）	（%）	1.17	―	―	1.18	4.67
うち第一生命分	（%）	1.18	―	―	1.19	4.69

※2013年3月期第1四半期は、保有契約年換算保険料・保有契約高について2013年3月期第1四半期会計期間末実績を記載　※前年度末比、前年同期比は増減比率
それ以外は2013年3月期第1四半期累計期間実績を記載（2012年3月期第1四半期も同様）
※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険
※年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）
※保険料等収入の内訳の記載は保険料収入の個人保険分野および団体保険分野（再保険料収入は含まない）
※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料
※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、主契約が継続している「減額」・「特約解約」を除く

【参考】連結損益計算書における保険料等収入は888,329百万円（前年同期比+6.9%）
対象となるのは、第一生命、第一フロンティア生命、TAL Dai-ichi Life Australia Ptv Ltd、第一生命ベトナムの4社

②資産の状況等

		2013年3月期 第1四半期会計期間末	前年度末比	2012年3月期末
総資産	（百万円）	31,265,733	△ 0.6	31,461,940
実質純資産額	（億円）	35,498	△ 3.3	36,701
実質純資産額／一般勘定資産	（%）	11.7	-	12.1
ｿﾙﾍﾞﾝｼｰ・ﾏｰｼﾞﾝ比率	（%）	562.0	△ 13.9	575.9

※2013年3月期第1四半期会計期間末の実質純資産額、ソルベンシー・マージン比率については、法令等の規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出
※第一生命の実績を掲載　※前年度末比は増減比率(ソルベンシー・マージン比率は増減ﾎﾟｲﾝﾄ)

③基礎利益（第一生命と第一フロンティア生命の合算値）

		2013年3月期 第1四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第1四半期累計期間	2012年3月期
基礎利益（合算値） A	（百万円）	39,958	△ 38,119	78,077	319,966
第一生命	（百万円）	66,892	△ 12,733	79,625	302,425
第一フロンティア生命	（百万円）	△ 26,933	△ 25,386	△ 1,547	17,540
最低保証に係る責任準備金の増減の影響（合算値） B	（百万円）	△ 27,398	△ 21,790	△ 5,608	3,047
第一生命	（百万円）	△ 755	△ 736	△ 19	464
第一フロンティア生命	（百万円）	△ 26,643	△ 21,054	△ 5,588	2,582
基礎利益（合算値、最低保証に係る責任準備金の増減の影響を除く） A－B	（百万円）	67,357	△ 16,328	83,685	316,919
第一生命	（百万円）	67,647	△ 11,996	79,644	301,961
第一フロンティア生命	（百万円）	△ 290	△ 4,331	4,040	14,957

※合算値は第一生命、第一フロンティア生命の単純和を表示　※前年同期比は増減
※最低保証に係る責任準備金とは、変額年金保険の最低保証ﾘｽｸに対して、標準責任準備金制度の一環として積み立てているもの
最低保証に係る責任準備金が増加した場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る責任準備金が減少した場合は基礎利益を増加させる要因になる

④経常利益

		2013年3月期 第1四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第1四半期累計期間	2012年3月期
経常利益(第一生命)	(百万円)	40,633	△ 26.3	55,101	243,765
経常利益(連結)	(百万円)	29,431	△37.9	47,372	225,920

※前年同期比は増減比率

⑤純利益

		2013年3月期 第1四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第1四半期累計期間	2012年3月期
四半期(当期)純利益(第一生命)	(百万円)	22,547	+29.6	17,398	17,624
四半期(当期)純利益(連結)	(百万円)	11,131	△ 65.5	32,275	20,357

※前年同期比は増減比率

⑥準備金

		2013年3月期 第1四半期会計期間末	前年度末比	2012年3月期末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	27,646,676	+58,121	27,588,555
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	26,632,278	+133,564	26,498,713
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	1,014,397	△ 75,443	1,089,841
価格変動準備金	(百万円)	77,953	+3,500	74,453
危険準備金	(百万円)	427,593	+4,500	423,093
危険準備積立金	(百万円)	43,120	-	43,120
価格変動積立金	(百万円)	65,000	-	65,000

※2012年3月期末の危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金の処分後の残高を記載　※前年度末比は増減
※第一生命の実績を掲載

⑦含み損益

		2013年3月期 第1四半期会計期間末	前年度末比	2012年3月期末
有価証券	(百万円)	1,058,255	△ 157,375	1,215,631
うち国内株式	(百万円)	90,873	△ 206,950	297,824
うち国内債券	(百万円)	925,244	+134,637	790,607
うち外国証券	(百万円)	34,818	△ 79,589	114,408
不動産	(百万円)	△ 11,116	+25,419	△ 36,536
その他共計	(百万円)	1,047,447	△ 132,507	1,179,954

※不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準　※前年度末比は増減
※第一生命の実績を掲載

⑧資産の含み損益がゼロになる水準(2012年6月末時点)

		2012年6月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	約8,100円
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	約690ポイント
国内債券	(%)	約1.3%
外国証券	(円)	約85円

※株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出
※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出
※外国証券はドル円換算にて算出
※第一生命の実績を掲載

⑨銀行窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2013年3月期 第1四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第1四半期累計期間	2012年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	1,414	△ 63.0	3,817	12,573
	金額(収入保険料)	(百万円)	5,788	△ 69.0	18,685	58,042
定額年金保険	新契約件数	(件)	14,559	+161.5	5,568	53,424
	金額(収入保険料)	(百万円)	67,622	+187.5	23,522	244,447

※銀行窓販の対象となる金融機関に一般証券会社を含めて記載　※前年同期比は増減比率

			2013年3月期 第1四半期累計期間	前年同期比	2012年3月期 第1四半期累計期間	2012年3月期
変額一時払終身保険	新契約件数	(件)	2	△ 97.7	87	227
	金額(収入保険料)	(百万円)	4	△ 99.5	840	1,877
定額一時払終身保険	新契約件数	(件)	738	-	-	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	6,002	-	-	-

※定額一時払終身保険については、2012年5月より販売を開始した外貨建て商品の実績を掲載。円建ての一時払終身保険については銀行窓販で販売していない。　※前年同期比は増減比率

平成２４年８月１０日
第一生命保険株式会社

平成２４年度第１四半期報告

第一生命保険株式会社（社長　渡邉 光一郎）の平成２４年度第１四半期（平成２４年４月１日～平成２４年６月３０日）の業績は添付のとおりです。

〔目 次〕

平成２４年度第１四半期報告の概況

１．主要業績	……	１頁
２．資産運用の実績（一般勘定）	……	３頁
３．四半期貸借対照表	……	６頁
４．四半期損益計算書	……	７頁
５．経常利益等の明細（基礎利益）	……	９頁
６．ソルベンシー・マージン比率	……	１０頁
７．特別勘定の状況	……	１１頁
８．保険会社及びその子会社等の状況	……	１２頁

以　上

１．主要業績

（１）保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、％)

区　　分	平成23年度末		平成24年度第1四半期会計期間末			
	件数	金額	件数	前年度末比	金額	前年度末比
個　人　保　険	11,372	1,385,979	11,387	100.1	1,370,910	98.9
個人年金保険	1,289	75,375	1,302	101.0	76,094	101.0
個人保険＋個人年金	12,662	1,461,354	12,690	100.2	1,447,004	99.0
団　体　保　険	-	504,915	-	-	497,197	98.5
団体年金保険	-	60,659	-	-	60,323	99.4

（注）１．個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と
　　年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。
　　２．団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位：千件、億円、％)

区　　分	平成23年度第1四半期累計期間				平成24年度第1四半期累計期間					
	件数	金　額			件数		金　額			
			新契約	転換による純増加		前年同期比		新契約	転換による純増加	前年同期比
個　人　保　険	294	12,535	12,656	△ 121	281	95.6	13,872	12,987	884	110.7
個人年金保険	10	779	801	△ 22	21	199.0	1,422	1,443	△ 20	182.5
個人保険＋個人年金	305	13,314	13,458	△ 143	303	99.4	15,295	14,430	864	114.9
団　体　保　険	-	639	639	-	-	-	1,445	1,445	-	225.9
団体年金保険	-	2	2	-	-	-	0	0	-	8.2

（注）１．件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。
　　２．新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。
　　３．新契約の団体年金保険の金額は第１回収入保険料です。

(参考)
個人保険・個人年金保険の解約・失効高、解約・失効率

(単位：億円、％)

区　　分	平成23年度 第1四半期累計期間	平成24年度 第1四半期累計期間
解約・失効高	18,032	17,288
解約・失効率	1.19	1.18

（注）１．失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。
　　２．主契約が継続している「減額」・「特約解約」を除いています。

（２）年換算保険料

・保有契約

(単位：億円、%)

区　　分	平成23年度末	平成24年度 第1四半期会計期間末	前年度末比
個　人　保　険	16,828	16,751	99.5
個人年金保険	3,239	3,281	101.3
合　　計	20,068	20,033	99.8
うち医療保障・生前給付保障等	5,150	5,166	100.3

・新契約

(単位：億円、%)

区　　分	平成23年度 第1四半期累計期間	平成24年度 第1四半期累計期間	前年同期比
個　人　保　険	236	239	101.6
個人年金保険	29	48	166.6
合　　計	265	288	108.8
うち医療保障・生前給付保障等	108	99	92.2

（注）１．「年換算保険料」とは、１回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、１年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

２．「医療保障・生前給付保障等」には、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

３．「新契約」には転換純増分も含んでいます。

２．資産運用の実績（一般勘定）

（１）資産の構成（一般勘定）

（単位：百万円、％）

区　分			平成23年度末		平成24年度 第1四半期会計期間末	
			金　額	占　率	金　額	占　率
現預金・コールローン			440,974	1.5	490,518	1.6
買現先勘定			-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金			-	-	-	-
買入金銭債権			294,324	1.0	293,352	1.0
商品有価証券			-	-	-	-
金銭の信託			20,672	0.1	19,034	0.1
有価証券			24,314,699	80.1	24,075,252	79.6
	公社債		15,541,651	51.2	15,698,642	51.9
	株式		2,284,861	7.5	2,024,457	6.7
	外国証券		6,298,234	20.7	6,169,546	20.4
		公社債	4,786,438	15.8	4,713,615	15.6
		株式等	1,511,795	5.0	1,455,931	4.8
	その他の証券		189,951	0.6	182,606	0.6
貸付金			3,412,529	11.2	3,330,642	11.0
	保険約款貸付		509,826	1.7	502,875	1.7
	一般貸付		2,902,702	9.6	2,827,767	9.3
不動産			1,249,101	4.1	1,227,958	4.1
	うち投資用不動産		810,238	2.7	790,406	2.6
繰延税金資産			282,638	0.9	364,854	1.2
その他			360,010	1.2	471,624	1.6
貸倒引当金			△ 10,670	△ 0.0	△ 9,863	△ 0.0
合計			30,364,280	100.0	30,263,374	100.0
	うち外貨建資産		4,669,650	15.4	4,674,009	15.4

（注）「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しています。

（２）有価証券の時価情報（一般勘定）（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区分			帳簿価額	時価	差損益		
						差益	差損
平成23年度末	満期保有目的の債券		135,828	141,079	5,250	5,250	-
		公社債	94,524	96,999	2,474	2,474	-
		外国公社債	41,303	44,079	2,775	2,775	-
	責任準備金対応債券		8,271,349	8,793,208	521,858	522,899	1,041
		公社債	8,271,349	8,793,208	521,858	522,899	1,041
	子会社・関連会社株式		1,763	1,932	168	168	-
	その他有価証券		14,051,792	14,743,299	691,506	978,055	286,548
		公社債	6,909,503	7,175,777	266,273	279,031	12,757
		株式	1,674,737	1,972,561	297,824	465,533	167,709
		外国証券	5,071,333	5,186,119	114,785	209,470	94,684
		公社債	4,608,914	4,745,134	136,220	189,147	52,926
		株式等	462,419	440,984	△ 21,434	20,323	41,758
		その他の証券	105,325	99,516	△ 5,808	5,541	11,349
		買入金銭債権	275,893	294,324	18,431	18,478	47
		譲渡性預金	15,000	15,000	0	0	-
		その他	-	-	-	-	-
	合計		22,460,734	23,679,519	1,218,784	1,506,374	287,590
	公社債		15,275,377	16,065,984	790,607	804,406	13,799
	株式		1,674,737	1,972,561	297,824	465,533	167,709
	外国証券		5,112,637	5,230,198	117,561	212,246	94,684
		公社債	4,650,217	4,789,214	138,996	191,922	52,926
		株式等	462,419	440,984	△ 21,434	20,323	41,758
	その他の証券		107,088	101,448	△ 5,639	5,710	11,349
	買入金銭債権		275,893	294,324	18,431	18,478	47
	譲渡性預金		15,000	15,000	0	0	-
	その他		-	-	-	-	-
平成24年度第1四半期会計期間末	満期保有目的の債券		134,506	139,923	5,417	5,417	-
		公社債	94,676	97,820	3,144	3,144	-
		外国公社債	39,829	42,102	2,273	2,273	-
	責任準備金対応債券		8,865,568	9,482,929	617,360	618,036	676
		公社債	8,865,568	9,482,929	617,360	618,036	676
	子会社・関連会社株式		2,263	2,263	-	-	-
	その他有価証券		13,513,286	13,961,685	448,399	830,775	382,376
		公社債	6,433,657	6,738,396	304,738	313,977	9,238
		株式	1,621,452	1,712,325	90,873	316,212	225,338
		外国証券	5,079,800	5,125,267	45,467	177,284	131,817
		公社債	4,585,255	4,673,785	88,529	163,908	75,378
		株式等	494,544	451,481	△ 43,062	13,376	56,438
		その他の証券	104,946	92,343	△ 12,603	3,317	15,920
		買入金銭債権	273,429	293,352	19,922	19,983	61
		譲渡性預金	-	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-	-
	合計		22,515,624	23,586,802	1,071,177	1,454,229	383,052
	公社債		15,393,903	16,319,147	925,244	935,158	9,914
	株式		1,621,452	1,712,325	90,873	316,212	225,338
	外国証券		5,119,629	5,167,370	47,740	179,558	131,817
		公社債	4,625,085	4,715,888	90,803	166,181	75,378
		株式等	494,544	451,481	△ 43,062	13,376	56,438
	その他の証券		107,210	94,606	△ 12,603	3,317	15,920
	買入金銭債権		273,429	293,352	19,922	19,983	61
	譲渡性預金		-	-	-	-	-
	その他		-	-	-	-	-

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

（単位：百万円）

区　　分		平成23年度末	平成24年度 第1四半期会計期間末
満期保有目的の債券		-	-
	非上場外国公社債	-	-
	その他	-	-
責任準備金対応債券		-	-
子会社・関連会社株式		338,206	337,100
	非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	182,680	182,680
	非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	148,716	147,567
	その他	6,809	6,851
その他有価証券		1,133,357	1,067,646
	非上場国内株式(店頭売買株式を除く)	129,619	129,450
	非上場外国株式(店頭売買株式を除く)	905,550	840,552
	非上場外国公社債	0	0
	その他	98,188	97,643
合　　計		1,471,564	1,404,746

（注）1．本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。
2．時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券のうち、外国証券の為替を評価した差損益は以下のとおりです。
(平成23年度末：△3,153百万円、平成24年度第1四半期会計期間末：△12,921百万円)

（3）金銭の信託の時価情報（一般勘定）

(単位：百万円)

区　　分	貸借対照表計上額	時価	差損益		
				差益	差損
平成23年度末	20,672	20,672	358	6,288	5,929
平成24年度第1四半期会計期間末	19,034	19,034	△　523	5,876	6,399

（注）本表記載の時価相当額の算定は、金銭の信託の受託者が合理的に算定した価格によっています。
差損益には金銭の信託内で設定しているデリバティブ取引に係る差損益も含んでいます。

・運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区　　分	平成23年度末		平成24年度第1四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	20,672	358	19,034	△　523

（注）「当期の損益に含まれた評価損益」には期始の振戻損益を含めています。

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託
平成23年度末、平成24年度第1四半期会計期間末ともに残高がないため、記載していません。

3．四半期貸借対照表

（単位：百万円）

科目＼期別	平成23年度末要約貸借対照表（平成24年3月31日現在）	平成24年度第1四半期会計期間末（平成24年6月30日現在）
	金額	金額
（資産の部）		
現金及び預貯金	259,498	333,823
コールローン	239,800	200,600
買入金銭債権	294,324	293,352
金銭の信託	20,672	19,034
有価証券	25,333,423	25,019,544
（うち国債）	(13,354,741)	(13,518,853)
（うち地方債）	(311,133)	(307,950)
（うち社債）	(2,187,285)	(2,174,754)
（うち株式）	(2,549,923)	(2,260,950)
（うち外国証券）	(6,614,982)	(6,460,624)
貸付金	3,412,529	3,330,642
保険約款貸付	509,826	502,875
一般貸付	2,902,702	2,827,767
有形固定資産	1,254,198	1,233,982
無形固定資産	105,338	104,677
再保険貸	7,076	7,367
その他資産	243,177	346,983
繰延税金資産	282,638	364,854
支払承諾見返	20,074	21,004
貸倒引当金	△ 10,670	△ 9,863
投資損失引当金	△ 142	△ 269
資産の部合計	31,461,940	31,265,733
（負債の部）		
保険契約準備金	28,529,906	28,577,541
支払備金	130,386	123,781
責任準備金	28,011,648	28,074,270
契約者配当準備金	387,871	379,490
再保険借	458	522
社債	148,652	147,212
その他負債	1,128,862	1,040,359
未払法人税等	6,222	2,715
リース債務	1,664	2,776
資産除去債務	3,551	3,531
その他の負債	1,117,424	1,031,335
退職給付引当金	432,022	436,263
役員退職慰労引当金	2,521	2,475
時効保険金等払戻引当金	1,000	909
価格変動準備金	74,453	77,953
再評価に係る繰延税金負債	95,608	95,175
支払承諾	20,074	21,004
負債の部合計	30,433,560	30,399,417
（純資産の部）		
資本金	210,200	210,207
資本剰余金	210,200	210,207
資本準備金	210,200	210,207
利益剰余金	206,703	191,112
利益準備金	5,600	5,600
その他利益剰余金	201,103	185,512
危険準備積立金	43,120	43,120
価格変動積立金	65,000	65,000
不動産圧縮積立金	19,352	19,316
繰越利益剰余金	73,630	58,075
自己株式	△ 16,703	△ 15,982
株主資本合計	610,399	595,544
その他有価証券評価差額金	479,490	310,637
繰延ヘッジ損益	△ 44	△ 370
土地再評価差額金	△ 61,616	△ 39,630
評価・換算差額等合計	417,829	270,635
新株予約権	150	135
純資産の部合計	1,028,379	866,316
負債及び純資産の部合計	31,461,940	31,265,733

４．四半期損益計算書

（単位:百万円）

期別 / 科目	平成23年度第1四半期累計期間（平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで）	平成24年度第1四半期累計期間（平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで）
	金額	金額
経常収益	1,050,966	1,068,996
保険料等収入	744,881	763,995
（うち保険料）	(744,644)	(763,828)
資産運用収益	222,479	239,939
（うち利息及び配当金等収入）	(174,043)	(166,677)
（うち有価証券売却益）	(44,565)	(70,822)
（うち金融派生商品収益）	(1,957)	(1,618)
その他経常収益	83,605	65,061
（うち支払備金戻入額）	(24,907)	(6,605)
経常費用	995,864	1,028,363
保険金等支払金	609,612	632,072
（うち保険金）	(184,834)	(217,712)
（うち年金）	(118,497)	(126,519)
（うち給付金）	(125,671)	(135,141)
（うち解約返戻金）	(149,502)	(127,379)
（うちその他返戻金）	(30,890)	(24,985)
責任準備金等繰入額	122,731	64,932
責任準備金繰入額	120,333	62,621
契約者配当金積立利息繰入額	2,398	2,311
資産運用費用	65,899	135,381
（うち支払利息）	(4,676)	(4,635)
（うち金銭の信託運用損）	(196)	(1,624)
（うち有価証券売却損）	(14,270)	(12,729)
（うち有価証券評価損）	(20,438)	(49,440)
（うち特別勘定資産運用損）	(5,434)	(49,680)
事業費	98,842	95,536
その他経常費用	98,778	100,439
経常利益	55,101	40,633
特別利益	396	3,911
固定資産等処分益	396	3,911
特別損失	6,783	6,730
固定資産等処分損	306	1,693
減損損失	2,977	1,536
価格変動準備金繰入額	3,500	3,500
契約者配当準備金繰入額	18,957	17,765
税引前四半期純利益	29,756	20,049
法人税及び住民税	347	5,434
法人税等調整額	12,010	△ 7,932
法人税等合計	12,357	△ 2,498
四半期純利益	17,398	22,547

注記事項

(四半期貸借対照表及び株主資本等関係)

1　法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第１四半期累計期間の経常利益及び税引前四半期純利益は16百万円増加しております。

2　消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、534,633百万円であります。

3　契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当期首残高	387,871百万円
当第１四半期累計期間契約者配当金支払額	28,457　〃
利息による増加等	2,311　〃
契約者配当準備金繰入額	17,765　〃
当第１四半期会計期間末残高	379,490　〃

(四半期損益計算書関係)

1　１株当たり四半期純利益金額は2,279円80銭であります。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は2,279円45銭であります。

５．経常利益等の明細(基礎利益)

（単位：百万円）

区　　分	平成23年度 第1四半期累計期間	平成24年度 第1四半期累計期間
基礎収益	1,004,247	996,356
保険料等収入	744,881	763,995
資産運用収益	175,760	167,299
うち利息及び配当金等収入	174,043	166,677
その他経常収益	83,605	65,061
基礎費用	924,621	929,464
保険金等支払金	609,612	632,072
責任準備金等繰入額	94,798	34,670
資産運用費用	22,589	66,744
事業費	98,842	95,536
その他経常費用	98,778	100,439
基礎利益　A	79,625	66,892
キャピタル収益	46,522	72,441
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	44,565	70,822
金融派生商品収益	1,957	1,618
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	43,306	68,490
金銭の信託運用損	196	1,624
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	14,270	12,729
有価証券評価損	20,438	49,440
金融派生商品費用	-	-
為替差損	8,400	4,695
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益　B	3,215	3,950
キャピタル損益含み基礎利益　A＋B	82,841	70,842
臨時収益	196	198
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	24	198
その他臨時収益　（注）	171	-
臨時費用	27,936	30,407
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	6,000	4,500
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	2	3
その他臨時費用　（注）	21,933	25,904
臨時損益　C	△　27,740	△　30,209
経常利益　A＋B＋C	55,101	40,633

（注）1.平成23年度第1四半期累計期間において、その他臨時収益には、投資損失引当金戻入額(171百万円)、その他臨時費用には、保険業法施行規則第69条第5項の規定により責任準備金を追加して積み立てた額(21,933百万円)を記載しました。

3.平成24年度第1四半期累計期間において、その他臨時費用には、投資損失引当金繰入額(142百万円)及び保険業法施行規則第69条第5項の規定により責任準備金を追加して積み立てた額(25,762百万円)の合計額を記載しました。

６．ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項　　目		平成23年度末	平成24年度 第1四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額（Ａ）		3,128,027	2,953,096
	資本金等＊1	594,550	596,195
	価格変動準備金	74,453	77,953
	危険準備金	423,093	427,593
	一般貸倒引当金	2,411	2,341
	その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	622,400	403,409
	土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	△ 36,536	△ 11,116
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,469,387	1,487,891
	負債性資本調達手段等	441,780	441,492
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△383,699	△392,783
	控除項目	△169,507	△169,507
	その他	89,694	89,628
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$（Ｂ）		1,086,199	1,050,829
	保険リスク相当額　R_1	94,146	92,577
	第三分野保険の保険リスク相当額　R_8	158,098	158,401
	予定利率リスク相当額　R_2	284,367	282,027
	最低保証リスク相当額　R_7 ＊2	5,874	5,735
	資産運用リスク相当額　R_3	739,876	706,979
	経営管理リスク相当額　R_4	25,647	24,914
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$		575.9%	562.0%

＊　１　社外流出予定額及び評価・換算差額等を除いています。
＊　２　標準的方式を用いて算出しています。

（注）平成23年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
平成24年度第1四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。

７．特別勘定の状況

（１）特別勘定資産残高の状況

（単位：百万円）

区　　分	平成23年度末	平成24年度 第1四半期会計期間末
	金　　額	金　　額
個人変額保険	43,785	40,435
個人変額年金保険	142,821	130,245
団体年金保険	929,076	862,161
特別勘定計	1,115,683	1,032,841

（２）個人変額保険及び個人変額年金保険の保有契約高

・個人変額保険

（単位：件、百万円）

区　　分	平成23年度末		平成24年度 第1四半期会計期間末	
	件　　数	金　　額	件　　数	金　　額
変額保険（有期型）	191	940	191	940
変額保険（終身型）	46,835	290,505	46,664	289,365
合　　計	47,026	291,446	46,855	290,305

（注）保有契約高には定期保険特約部分を含んでいます。

・個人変額年金保険

（単位：件、百万円）

区　　分	平成23年度末		平成24年度 第1四半期会計期間末	
	件　　数	金　　額	件　　数	金　　額
個人変額年金保険	41,056	131,129	40,269	119,154

（注）保有契約高には年金支払開始後契約を含んでいます。

８．保険会社及びその子会社等の状況

（１）主要な業務の状況を示す指標

（単位：百万円）

項　　目	平成23年度 第1四半期連結累計期間	平成24年度 第1四半期連結累計期間
経 常 収 益	1,135,672	1,201,630
経 常 利 益	47,372	29,431
四 半 期 純 利 益	32,275	11,131
四 半 期 包 括 利 益	46,415	△ 167,705

項　　目	平成23年度末	平成24年度 第1四半期連結会計期間末
総 資 産	33,468,670	33,273,933
ソルベンシー・マージン比率	563.2%	544.8%

（２）連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結される子会社及び子法人等社数	16社
持分法適用非連結子会社及び子法人等社数	０社
持分法適用関連法人等社数	14社

期中における重要な子会社等の異動について
（四半期連結財務諸表の作成方針）をご参照ください。

（３）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

期別 / 科目	平成23年度末 要約連結貸借対照表 （平成24年3月31日現在） 金額	平成24年度 第1四半期連結会計期間末 （平成24年6月30日現在） 金額
（資産の部）		
現金及び預貯金	315,187	387,247
コールローン	249,200	207,400
買入金銭債権	294,324	293,352
金銭の信託	48,266	63,026
有価証券	27,038,793	26,723,662
貸付金	3,413,620	3,331,804
有形固定資産	1,254,685	1,234,423
無形固定資産	211,055	201,675
再保険貸	41,751	40,616
その他資産	307,973	412,799
繰延税金資産	284,562	367,065
支払承諾見返	20,074	21,004
貸倒引当金	△ 10,684	△ 9,874
投資損失引当金	△ 142	△ 269
資産の部合計	33,468,670	33,273,933
（負債の部）		
保険契約準備金	30,489,920	30,567,955
支払備金	239,320	229,375
責任準備金	29,862,729	29,959,089
契約者配当準備金	387,871	379,490
再保険借	12,681	12,044
社債	148,652	147,212
その他負債	1,188,105	1,091,227
退職給付引当金	433,791	438,385
役員退職慰労引当金	2,538	2,492
時効保険金等払戻引当金	1,000	909
価格変動準備金	74,831	78,400
繰延税金負債	9,719	10,456
再評価に係る繰延税金負債	95,608	95,175
支払承諾	20,074	21,004
負債の部合計	32,476,924	32,465,263
（純資産の部）		
資本金	210,200	210,207
資本剰余金	210,200	210,207
利益剰余金	165,557	138,550
自己株式	△ 16,703	△ 15,982
株主資本合計	569,253	542,982
その他有価証券評価差額金	483,446	316,412
繰延ヘッジ損益	△ 44	△ 370
土地再評価差額金	△ 61,616	△ 39,630
為替換算調整勘定	△ 8,535	△ 18,712
その他の包括利益累計額合計	413,249	257,697
新株予約権	150	135
少数株主持分	9,091	7,853
純資産の部合計	991,745	808,669
負債及び純資産の部合計	33,468,670	33,273,933

（４）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

（単位：百万円）

期別 / 科目	平成23年度 第1四半期連結累計期間 （平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで） 金額	平成24年度 第1四半期連結累計期間 （平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで） 金額
経常収益	1,135,672	1,201,630
保険料等収入	830,853	888,329
資産運用収益	221,328	250,666
（うち利息及び配当金等収入）	(173,348)	(166,537)
（うち金銭の信託運用益）	(-)	(4,673)
（うち売買目的有価証券運用益）	(-)	(1,820)
（うち有価証券売却益）	(44,565)	(71,174)
（うち金融派生商品収益）	(1,446)	(5,637)
その他経常収益	83,490	62,634
経常費用	1,088,300	1,172,198
保険金等支払金	653,993	679,247
（うち保険金）	(194,841)	(226,351)
（うち年金）	(118,860)	(126,942)
（うち給付金）	(131,565)	(142,489)
（うち解約返戻金）	(155,423)	(134,764)
責任準備金等繰入額	155,422	103,562
責任準備金繰入額	153,023	101,250
契約者配当金積立利息繰入額	2,398	2,311
資産運用費用	65,613	176,799
（うち支払利息）	(5,019)	(4,915)
（うち金銭の信託運用損）	(1,108)	(-)
（うち売買目的有価証券運用損）	(1,378)	(-)
（うち有価証券売却損）	(14,271)	(12,731)
（うち有価証券評価損）	(20,439)	(48,292)
（うち特別勘定資産運用損）	(1,981)	(84,133)
事業費	111,496	108,886
その他経常費用	101,774	103,702
経常利益	47,372	29,431
特別利益	23,513	3,912
固定資産等処分益	397	3,911
段階取得に係る差益	23,116	-
その他特別利益	0	0
特別損失	6,925	6,808
固定資産等処分損	311	1,702
減損損失	2,977	1,536
価格変動準備金繰入額	3,523	3,569
その他特別損失	114	0
契約者配当準備金繰入額	18,957	17,765
税金等調整前四半期純利益	45,002	8,770
法人税及び住民税等	1,487	6,733
法人税等調整額	12,054	△ 7,662
法人税等合計	13,542	△ 929
少数株主損益調整前四半期純利益	31,460	9,699
少数株主損失	814	1,431
四半期純利益	32,275	11,131

(四半期連結包括利益計算書)

（単位：百万円）

期別 / 科目	平成23年度 第1四半期連結累計期間 （平成23年4月1日から 平成23年6月30日まで）	平成24年度 第1四半期連結累計期間 （平成24年4月1日から 平成24年6月30日まで）
	金額	金額
少数株主損益調整前四半期純利益	31,460	9,699
その他の包括利益	14,955	△ 177,405
その他有価証券評価差額金	18,182	△ 166,809
繰延ヘッジ損益	△ 716	△ 326
土地再評価差額金	△ 34	△ 69
為替換算調整勘定	△ 2,574	△ 10,658
持分法適用会社に対する持分相当額	98	458
四半期包括利益	46,415	△ 167,705
親会社株主に係る四半期包括利益	47,195	△ 166,476
少数株主に係る四半期包括利益	△ 779	△ 1,229

注記事項

(四半期連結財務諸表の作成方針)

重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表及び株主資本等関係)

1　当社並びに連結される国内の子会社及び子法人等は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第１四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益は16百万円増加しております。

2　消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は、545,147百万円であります。

3　契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

当連結会計期間期首残高	387,871百万円
当第１四半期連結累計期間契約者配当金支払額	28,457　〃
利息による増加等	2,311　〃
契約者配当準備金繰入額	17,765　〃
当第１四半期連結会計期間末残高	379,490　〃

4　配当金支払額は次のとおりであります。

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年６月25日定時株主総会	普通株式	15,818	1,600	平成24年３月31日	平成24年６月26日	利益剰余金

(注)　配当金の総額には、信託口及び第一生命保険従業員持株会専用信託に対する配当金181百万円を含めておりません。これは信託口及び第一生命保険従業員持株会専用信託が所有する当社株式を自己株式として認識しているためであります。

(四半期連結損益計算書関係)

1　一部の連結される子会社及び子法人等の税金費用は、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

2　１株当たり四半期純利益金額は1,125円53銭であります。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額は1,125円36銭であります。

3　当第１四半期連結累計期間に係る賃貸用不動産等減価償却費は3,631百万円、減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は9,416百万円、のれんの償却額は780百万円であります。

（５）連結ソルベンシー・マージン比率

（単位：百万円）

項　　目			平成23年度末	平成24年度 第1四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額（Ａ）			3,096,077	2,917,164
	資本金等＊1		453,417	450,954
	価格変動準備金		74,831	78,400
	危険準備金		480,251	485,243
	異常危険準備金		-	-
	一般貸倒引当金		2,425	2,352
	その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)		628,174	411,838
	土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)		△ 36,536	△ 11,116
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額		1,527,129	1,541,901
	負債性資本調達手段等		441,780	441,492
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額		△525,037	△533,936
	控除項目		△ 40,052	△ 39,594
	その他		89,694	89,628
リスクの合計額 $\left[\left\{\left(R_1^2+R_5^2\right)^{\frac{1}{2}}+R_8+R_9\right\}^2+\left(R_2+R_3+R_7\right)^2\right]^{\frac{1}{2}}+R_4+R_6$ （Ｂ）			1,099,355	1,070,774
	保険リスク相当額	R_1	101,911	100,049
	一般保険リスク相当額	R_5	-	-
	巨大災害リスク相当額	R_6	-	-
	第三分野保険の保険リスク相当額	R_8	164,238	164,429
	少額短期保険業者の保険リスク相当額	R_9	-	-
	予定利率リスク相当額	R_2	287,440	285,584
	最低保証リスク相当額	R_7 ＊2	28,829	26,328
	資産運用リスク相当額	R_3	723,443	699,333
	経営管理リスク相当額	R_4	26,117	25,514
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{（A）}{（1／2）×（B）}×100$			563.2%	544.8%

＊１ 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除いています。
＊２ 標準的方式を用いて算出しています。

(注) 平成23年度末は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。
平成24年度第1四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。

（6）子会社等である保険会社の保険金等の支払能力の充実の状況
（ソルベンシー・マージン比率）

・第一フロンティア生命保険株式会社

(単位：百万円)

項　　目		平成23年度末	平成24年度 第1四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額（A）		207,088	192,045
	資本金等	86,770	71,088
	価格変動準備金	378	447
	危険準備金	57,157	57,650
	一般貸倒引当金	17	15
	その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	5,023	8,835
	土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額	57,741	54,009
	負債性資本調達手段等	-	-
	全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
	控除項目	-	-
	その他	-	-
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$ （B）		47,284	55,519
	保険リスク相当額　R_1	0	0
	第三分野保険の保険リスク相当額　R_8	-	-
	予定利率リスク相当額　R_2	3,073	3,557
	最低保証リスク相当額　R_7	21,923	19,730
	資産運用リスク相当額　R_3	20,910	30,615
	経営管理リスク相当額　R_4	1,377	1,617
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2)\times(B)}\times 100$		875.9%	691.8%

（注）1．平成23年度末は、保険業法施行規則第86条、第87条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
平成24年度第1四半期会計期間末は、これらの規定に準じて、当社が妥当と考える手法により算出しています。

2．最低保証リスク相当額は、標準的方式を用いて算出しています。

（7）セグメント情報

単一セグメントであるため、セグメント情報については記載をしておりません。

平成 24 年 8 月 10 日

証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況

第一生命保険株式会社

金融安定化フォーラムの報告書（平成 20 年 4 月）に示された先進的開示例に基づき、証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況を開示します。

証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の概要は以下のとおりです。

・平成 24 年 6 月末時点でサブプライムローンに直接投資しているものはありません。
・ヘッジファンドにおいては、サブプライム関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンド・オブ・ファンズ、シングルファンドがありますが、ロング（買い）ポジションとショート（売り）ポジションを有しており、相場変動時に大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています。
・証券化商品等の投資額全体の 8 割弱がＲＭＢＳです。内訳は「米国政府系機関または米国政府支援機関の保証のついたモーゲージ債券」、「日本国内の住宅ローン債権を裏付けにしたもの」、「住宅金融支援機構財投機関債券」となっています。

なお、表中の項目について以下のように定義しています。

・「含み損益」は時価から簿価を差し引いたものであり、「実現損益」は、売却損益と減損額を加えたものです。（利息および配当金収入等は含めていません。）

1.投資状況

①特別目的事業体（SPEs）一般

特別目的事業体（ＳＰＥｓ）への投資はありません。

（単位：億円）

	時価	含み損益	実現損益
特別目的事業体（SPEs）一般	-	-	-
ABCP	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-
SIV	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-
その他	-	-	-
うち当社が組成する SPEs	-	-	-

②債務担保証券（CDO）

（単位：億円）

			時価	含み損益	実現損益
債務担保証券（CDO）（※1）（※2）			15	0	-
ABS－CDO			-	-	-
	シニア		-	-	-
		うちサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
	メザニン		-	-	-
		うちサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
	エクイティ		-	-	-
		うちサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
CLO			15	0	-
	シニア		15	0	-
	メザニン		-	-	-
	エクイティ		-	-	-
CBO			-	-	-
	シニア		-	-	-
	メザニン		-	-	-
	エクイティ		-	-	-
ｼﾝｾﾃｨｯｸ CDO			-	-	-
	シニア		-	-	-
	メザニン		-	-	-
	エクイティ		-	-	-
その他			-	-	-
	シニア		-	-	-
	メザニン		-	-	-
	エクイティ		-	-	-

※1. 保有している債務担保証券（ＣＤＯ）の全体の規模は、合計約 4,216 億円であり、うち当社が保有するＣＤＯは 15 億円です。

※2. 当該ＣＤＯの格付別内訳は、以下の通りです。

（単位：億円）

外部格付	時価	比率
ＡＡＡ	-	-
ＡＡ	15	100.0%
Ａ	-	-
ＢＢＢ	-	-
ＢＢ	-	-
Ｂ	-	-
格付なし	-	-
合計	15	100.0%

③その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー

サブプライム・Alt-A エクスポージャーを裏付資産に持つ証券化商品等の保有はありません。 (単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
その他のサブプライム・Alt-A エクスポージャー	-	-	-
証券化されていないローン	-	-	-
RMBS	-	-	-
デリバティブ	-	-	-
コミットメントライン	-	-	-
その他	-	-	-

④商業用不動産担保証券(CMBS)

商業用不動産担保証券(CMBS)の保有はありません。 (単位:億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成24年3月末		
商業用不動産担保証券(CMBS)	-	-	-	-
日本	-	-	-	-
米国	-	-	-	-
欧州	-	-	-	-
英国	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

⑤レバレッジド・ファイナンス

レバレッジド・ファイナンスの保有はありません。 (単位:億円)

	時価		含み損益	実現損益
		参考:平成24年3月末		
レバレッジド・ファイナンス	-	-	-	-
通信	-	-	-	-
電機	-	-	-	-
娯楽	-	-	-	-
サービス	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

⑥その他(※1)

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
ヘッジファンド(※2)	2,190	△269	-
CDS	-	-	-
RMBS	(※3) 14,850	567	65
ABS	1,453	13	-
クレジットリンクノート	441	△18	-

※1. サブプライムローンに直接投資しているものはありません。

※2. ヘッジファンドにおいては、サブプライム関連商品のエクスポージャーをポートフォリオの一部に含むファンド・オブ・ファンズ、シングルファンドがありますが、ロング(買い)ポジションとショート(売り)ポジションを有しており、相場変動時に大きく損失を被るリスクは少ないものと判断しています。

※3. RMBSの内訳は、「米国政府系機関または米国政府支援機関の保証のついたモーゲージ債券」約11,860億円、「日本国内の住宅ローン債権を裏付けにしたもの」約2,809億円、「住宅金融支援機構財投機関債券」約180億円となっています。

2.証券化商品等全体の内訳

サブプライムローンに直接投資しているものはありません。

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益	占率(時価)
証券化商品等合計	18,952	294	65	100.0%
CDO	15	0	-	0.1%
CMBS	-	-	-	-
ヘッジファンド	2,190	△269	-	11.6%
CDS	-	-	-	-
RMBS	14,850	567	65	78.4%
ABS	1,453	13	-	7.7%
クレジットリンクノート	441	△18	-	2.3%

3.その他の関連情報

子会社における、サブプライムローン関連商品への投資はありません。

＜各種証券化商品の用語について＞

ABCP：Asset Backed Commercial Paper（資産担保コマーシャルペーパー）

ABS：Asset Backed Securities（資産担保証券）

ABS-CDO：CDO of ABS（資産担保証券を裏付資産とする債務担保証券）

CBO：Collateralized Bond Obligation（債券担保証券）

CDO：Collateralized Debt Obligation（債務担保証券）

CDS：Credit Default Swap（クレジット・デフォルト・スワップ）

CLO：Collateralized Loan Obligation（ローン担保証券）

CMBS：Commercial Mortgage-Backed Securities（商業用不動産担保証券）

RMBS：Residential Mortgage-Backed Securities（住宅ローン担保証券）

SIV：Structured Investment Vehicle（ストラクチャード・インベストメント・ビークル）

以上